萬葉解

巻一

寄別
き
16
13
33

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

30. 7. 6

国立国会図書館　タイトル『万葉解』 請求記号 寄別13-33

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

萬葉集雜歌 卷一 解上

賀茂真淵著

明治三四・九・謄写

是ハくゝ乃ち唱よゝて古今和歌集序
よりも秋をよりいふくゝ乃ち唱よゝて
四季恋猿哀傷をふくめて萬葉集よりいふ元ゝ
よゝ撰らるゝまゝに其ゝ
更換哥をゝ別ゝて四季
但しハ大概をゝ

十巻ともいふ 瀧覧 羇旅 宴會 四季の部ともある

時世よりて次第も載らる且第二巻といふ古今集序にもくらべのうたも

多くいひ西鬼は一部乃ち

を指ハ四巻これは雑歌也

訓例もいろいろなり

泊瀬朝倉宮御宇天皇代

（ハツセニアサクラノミヤニアメノシタシラススメラミコトノミヨ）

天皇御製

天皇ハ名恭 天皇第五皇子ニ坐て御兄安康天皇

三年紀ニ命有司設壇於泊瀬朝倉即天皇位遂定

宮焉云云といふ御名を大泊瀬皇子といふ

（オホハツセノミコ）大泊瀬 雄略天皇

（ワカタケノスメラミコト）武

（オホハツセワカタケノスメラミコト）大泊瀬稚武天皇

此地ニ坐けるおりそのことを題詞ニ定給ふ

もの乙 大和国城上郡泊瀬也古事記ニハ長谷と出ル

ハ波都勢と記ニよくうつくしき

さて此ノ下文武天皇四年ニハ其皇后を標異して

下ニ甚御代の今を載ル天皇大宝元年ニハ

號を標しるせる年代乃今を載ル

時世のうつりかはるまゝ

△大泊瀬稚武天皇この御歌ハ萬葉舊本ニハ二行小書ニ

ものゆゑ私ニ云ふるハ此ノ歌を一つ

小書ニせるハ誤ニて今ハ一〇又雄略天皇と申奉るハ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

清海古人三松岡和尚の天皇紀
綸言を奉称と日本紀私記
雄武天皇と卜類ハ御諡多況史及此集下の大行天皇とや
今のごとくいふこと旦今まで
便りよしハ解
もとより

○天皇御製歌ハ雄武天皇 大御歌なるべし大槻

先ゝて此四字。次ゝからみごとのお
ほゝしくさと訓をみごとゝ濁唱するハ儀制令
云天子祭祀所称義解云謂告神祇称天子凡自天
子至車駕皆是書記所用至尊詔
命及須明樂美御徳之類也 古書よいめく

清濁を正して假字を用ひたるハ
異朝の字法を借りしまゝ右の全解ハ誰て
の称ゝ
ゝしてハ敢て徳て
ますあつまつるとい天照大御神古事記
大御酒
亨林上 大御食 古事記 日本紀
まつる
天皇大御歌類聚

皇子等ま御の借ハ男を猶大の借を童て至
るの称を云つゝしハ旦おかしうこゝろをもてゝ
ゝしてゝ御ゝまつりてゝ

籠毛與美籠母乳布久思毛與美夫君志持此岳尓菜
摘

須兒家告閇　告今作レ吉ハ非シ依二旧本一作レ告シ故以レ私為レ閇
閇今本作レ閑亦非
子根虚見津山跡乃國者押奈戸手吾許曽倍奈弖
手吾已曽座我許者當作レ背蓋告目家乎毛名雄母
總之ハ蓋御遊行の次ようきかれ筐鏡かと
持てる處の岡を菜採てあるを見そめて告やれ
いく許かいそこ其名を告やせよと吾こそ國民う
るはしと吾こそ國民う
名告沙
満てまおさまれつまをてそ夫とそて告〳〵と

こちもあるを〳〵古麦記　雄畧
和河へ時河邊有洗レ衣童女。其容姿甚麗天皇問其
童女汝者誰子。答白已名謂二刑田部赤猪子一尓令詔
者汝不嫁夫今将喚而還坐於宮云云又云天皇幸
行吉野宮之時吉野川之濱有童女。其形姿美麗
故婚畱其童女之家云云こゝを今よ似てあるを
御製を記よりうち行幸多くしたのかまほ

三無野と真無野と集中まうでて同緒
と言ふ称美を例ひ推古紀御製ぞ摩蘇
餓豫蘇餓能古羅破云云の類ひ但もを蘇
我毛與志蘇我乃古羅波と句を下して
疑ふべし

○布久恵毛與 五言一句 美夫君志持 六言一句 この
毛ひ助辞 美ひ称美乃詞上のめくして同句
法に且夫君志と夫乃濁音とを用ゐしる則夫

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

まち乙績くゝ布乃手原湯之ゑもまて更乃言(ゆ)

夫字ハ古書皆湯ニ
音の假字まゝゆ

○布久志ハ和名抄農具部云鑺(クハ)和名加奈久波(カナクハ)鉏鉄又土具也とこの土具とよめるハ誤也ホグシ志とも云て野菜なとの根を掘切もの之語ハ掘串乃約(ツヅ)ゝ古事記ニ集(ツド)ゝ

古事記ニ集(ツド)ゝ

○須児ハ賊(シヒ)まるを云ト須ハ約(ツヾ)ゝ第十巻ニ
足日木乃山之蔭(アシビキノヤマノコカゲ)尓鳴鹿(シヽ)之聲聞(コエキカス)ヤモ方山田守酢児(モルスゴ)

○須児ハ賊まるを云ト須ハ約ゝ第十巻ニ
足日木乃山之蔭尓鳴鹿之聲聞ヤモ方山田守酢児

こゝ乃須児ハ下賊(シヒ)句海(ウミ)まるの女
ハ良賊乃賊(シヒ)ましてハ二人ハ此の人
を賊(シヒ)ト宣(ノ)せらるゝ一人ハ上菓摘てあるゆへ

こゝ乃須児ハ下賊句海まるの女
ハ良賊乃賊ましてハ二人ハ此の人
を賊ト宣せらるゝ一人ハ上菓摘てあるゆへ

強て御戯(タハブレ)ニ賊と仰せらるゝ
なり知つへし

強て御戯ニ賊と仰せらるゝ
なり知つへし

○浅茅童女(アサチヲトメ)ハ黒髪を束ねて肩に垂たる
菓を摘てハ古支記仁徳
條ニ吉備海部(キビノアマベ)直之女(アタヒガムスメ)黒

○浅茅童女ハ黒髪を束ねて肩に垂たる
菓を摘てハ古支記仁徳
條ニ吉備海部直之女黒

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

日賣后皇女爲して國を治しめし時に
黒日賣命大坐其國之山方地而獻大御飯於是
爲奠大御羹採其地之菘菜時天皇到坐其嬢子之
採菜處歌曰夜麻賀多尓麻氣流阿遠那母岐備比
登々斯母迩斯久母阿流迦天皇上
幸之時黒日賣献御歌曰云々又歌曰夜麻登幣迩
由玖婆多賀都麻許母理豆能志多由玖閇都々由
久波多賀都麻この歌の後に
伊波紀欲利奈利提志比等迩
奈何奈能良佐祢を第九
而玉藻苅海未通女等汝名告佐祢こゝらの類し此
二句まで同一句法をなしてつゞく
古語につゞくるまゝにてよりどころなき
のみにもしむ例し後世名を告るを忘れしる人のしわざなり○今おもふに家吉閇と書ていへきんと
訓るハ古語乃例を考へて云まのあるまゝ訓をかやめぬ

○家告閇 閇の讀如恵 ハ家告とつゞくを延て
名告沙根ハ名告こゝろを延て云る語し 良祢ハ禮し 良ハ
多くハうるはしくと云ことに
久波多賀都麻許母理豆能志多由玖閇都々由
幸之時黒日賣献御歌曰云々又歌曰夜麻登幣迩
登々斯母迩斯久母阿流迦天皇上
採菜處歌曰夜麻賀多尓麻氣流阿遠那母岐備比
爲奠大御羹採其地之菘菜時天皇到坐其嬢子之
獻大御飯於是
日賣后皇女爲して國を治しめし時に

ハ歌の後に歌歌ひて讀歌とす 讀ると云ふ 別のおやに讀ると歌詠ると別ありて歌曰とそろハ多くハうるはしくと云ことに

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

ガラス使用

○虚見津山跡乃國者　神武
及至饒速日命乘天磐舩而翔大虚也睨是郷而降
之故国目之曰虚見日本國矣　この日本の字のみ唯
大和一國を指すと右のそれ文
まそのふし數多大
和一國のみを日本書紀
とおて下乃人乃口のうへ天漫滿傳宇置而ととも
泳せよ　滿ハ借字
見のあり
○山跡乃國　則神武

紀及人乃口乃大和國一國を指し
元總國より君臨しまひ
椎多くい宮居をさていよ
ねて位ゐ給ひ和列一國
やまい神武天皇より元仁天皇まてハ他
大和ましまさん間の事
ハ皆大和一國のすへ
まいてうくん噂する泉の事山
ともしやまし
總國乃事ハ
やう大小緩急ありて
ね都ふしいつきよ

總國の
歸と称

川ゝる事ハ山乃陰ハ外陰乃事ニ
[illegible]ハ陰乃事ニ沿て汲と
[illegible]ハ陰乃事ニ沿て汲と
[illegible]ハ陰乃事ニ沿て汲と

元古等ても語ハ物乃ま中ゟ指お元ゐてゐ意ゝ
ゐよ太三の古等ま男ゐて上一人よ御笠ま知しめま
し
○背歯（セナトハ）告（ノラメ）国云云これハ岡中ま誰いありとも知ゐとも
支（セ）とてハ治ゟ乱ゐるゐとも告申す（まつるの動
ゐをやるよいのゐめと例やゐ故人多くハ惑を作
ゐさて背（せな）ハ昔ハ君長をさていふ語ゝ集中よ男ゐ
知背よゐるゐ一拉てゐ一て又集中
てゐゐも男乃ゐるれハ又男をさいふゐ吾せこよとをゐ
ゐ男乃ゐるれハ又男をさいふゐ吾せこよとをゐ物乃

望紫笋土味鎌之
臨津手射而水手駈之
名者謂手師手着
将有ベ方

汝不知之今将喫之勿動之
ふなとやせしの伝をしらる御歳乃動とそてう
旦上世の女ハ妙すれ時をていう
尽て集ゆる名ハ告こと書いもと
川ふ気ハあんしと思そやさし
いひりけ事ある人ハかくまて
ふよとうたり

女の名ふこのうた

高市岡本宮御宇天皇代

タケチ　コウ　モトノミヤニ　アメガシタシラス　スメラミコトノミヨ

日本紀　舒明紀

元天皇二年冬十月遷於飛鳥岡傍是
謂岡本宮ふる高市ハ岡大和國の一郡名ま
飛鳥岡即此郡まあり

オキ　ナガタラシヒ　ヒロヌカノ

息長足日
廣額天
皇

○此天皇御世名ハ田村皇
旦日廣額天皇とやし御謚ハ息
小書やり旦後ふ舒明天皇
の御代ふてハ古今ふ
ハ作よハ異して

旦香具の具ハ濁訓ニ神武紀云香山
ヲ含テ天ヲ望ミ國ヲ占フ香字ヲ用ル
ヲ含ムヿ此ノ一ノ證ナリ

○望國ニ
世ニ人天皇ヲ尊ミ國形民狀ヲ見
第三卷筑波山ノ歌ニモ見エ又上古ノ
ト知レテ神武紀ニ國見丘アリ今俗ニ
山常庭村山有等取與呂布天香山騰立國見乎為者
國原波煙立籠海原波加萬目立多都何怜國曽蜻島

即テモアラヌ
アケモアリ

天皇登香具山望國之時御製歌

天皇ノ昔ノ昔ノ御代ニ國ノ下ノ之字ハ文法ヲ以テ云ノヲ
ニ訓ヲ用ヒ那ニ通テ云ヘリ
天香山トアルニヲ乙女ヒ香山
ニ訓ヲ用ヒ那ニ通テ云ヘリ

○香具山ハ必喜神名式ニ大和國十市郡ニ
書リ此集ニハ香具香来香久ナドアルニ
當ル假字ニ假ヲ用ヒ給ヒシ例ヲ以テ
知ベシ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

八間跡能國者
總意ハ𠮟ツ𠮟ツ上ヨリ白ハ香山の腰ヽる様中ヘ白
登まて烟望ノ景下ヽ白ハ國形の圓ヽるを称せ
ものゝ如
○村山ハ群山まて大和國ハ神武紀ま香山ノ四圍も
ヽ布ヽ垣山ヽまるまて
ヽ地名と
○取呂布ハ香山ノ形のまゝ
まゝまて
雄十三卷
隱来之長谷之山青幡乃忍坂山者是出之宜山之
出立之妙山叙ヽ雄畧紀御製ま既ヽ句あり
等ノ如ク
○國原波云云 下ヽ伊勢ヽ
ヽを原ヽ天原海原ヽ
ヽ
煙ヽ立ヽ
一本籠ヽ
作龍ヽ
○海原波云云 ヽハ大池まて群鷗の立

居す景いよ海をそ古へ潮海をそ大水を海
まつり第三巻長皇子遊猟路池之時人まろ香ろ
皇者神尓之坐者真木之立荒山中尓海成可聞
営攝令云孔近大水云云義解云謂大水
者江河及海也こゝ等へ
且山下ゝ池あるゝすへ推古紀十五年云是歳冬於倭
國作高市池藤原池他ハ署ス
國作高市池藤原池他ハ署ス こゝゝよ
語ゝ天之芳来山署 松風尓池濤立而署 奥邊波鴨
妻喚署 大宮人乃退出而遊船尓波云云

神武紀云云有美地云々
よし一則は御製の末より二三句か神武紀より
又は且此集より何情とあるも右の可惜を因よ吉
何惜矣をあつまやと訓やうかなを添へ字を縮めやうに
こゝよ嘆くも元心情を五味よ譬て甘し辛し苦し酸し
よりおもひそめてもよりそふとも云なれは古語拾遺
きまそとよめる古語拾遺もある据もれいこゝもこゝ
おもふ一

○靖島八間 能國者 これ神武紀云 皇輿巡幸
因テ登腋上嗛間丘迴望國状曰妍哉乎國之獲矣雖
内木綿真迮國猶如蜻蛉之臀呫鳥由テ是始有リ秋津
洲之號一云云より始まりて上つ国紀を引
なく此御製右の紀乃なりさまあり且何惜
の句法中世殊に集中乃は御多きかい上世のうい
やうなるなり

天皇遊獵内野之時中皇命使間人連老獻歌
天皇かい上よ同し

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

内野ハ或云大和國宇智郡ヨ在テ禁野の一つとて小
和名抄ヲ案スルヨ宇智郡ヨ阿陀阿郷あるを所謂阿
陀大野ヲ又郡名ヲヨ内野ヲ称セしならん
紅の薄生郡ヨあるヲ薄生野ヲ誤レるなるべし
佐保山城の是道ようして宇智郡の智ヨも渭川ヲ疑ある
注てもし一旦山城國内村倚見村とつゞきて
大和乃宮居の所乃沖痛ヲ
大和
ゝしまあるをゝ
○中皇命ハ下ヨ載るよ御歌ヨ書レたる皇女ヨおは
ますを他よりそゝるなしゝなん入国隊よなるうし

ここゝ別しゝゝとさゝゝゝゝ名くゝ中大兄ヲ
例よゝハなゝれゝこゝ乃みゝゝゝ創ヲ
○間人ヲ云ハ孝徳紀ヨ小乙下中臣間人連老
入唐而歸還ヲ乃てさて奇れ御酒
ハ間人連老ヲして御賜ヲ
ゝまつる
ヘ

老於御前
猫下の

ヤ
ハ隅知之我大王ノ朝庭取撫賜ヲ庭伊縁立之御執
ノ梓弓之奈加弭乃音為奈利朝猟ホ今立須良思暮

獵(カリ)尓(ニ)今(イマ)他田渚良(オサラ)之御執(トラシノアッカノ)梓弓(ユミ)之奈加頗(ナカハズ)乃音(ノオト)為

奈(ナ)里(リ)

御獵(カリ)ま出(イデ)ましゝ日(ヒ)の夕(ユフ)さりて小(ヲ)鹿(シカ)の音(ネ)を聞(キヽ)て今(イマ)ぞ悔(クヤ)しき

乃(ノ)御(ミ)ら尓(ニ)足(タ)ら受(ズ)て今(イマ)ま寸(スル)ことの

ゝ

○八隅知之(ヤスミシヽ)ハ天皇(スメロキ)をほめ奉(マツ)る冠辞(カムコトバ)之(ノ)如(ゴト)く文(モジ)まもり

注(シル)をかけ疑(ウタガ)ひ人(ヒト)尓(ニ)知(シラ)れしめざるを語(カタラ)ふ

重(カサ)ねて日並(ヒナメ)知(シル)皇子尊(ミコノミコト)を慕(シタ)ひ奉(マツ)る

別(ワカ)れ悲(カナ)しむ御(ミ)ゆきの

御(ミ)ゆきを御(ミ)ゆきと知(シル)之(ノ)字(モジ)を語(カタラ)ふ

重(カサ)ねて日並(ヒナメ)知(シル)皇子尊(ミコノミコト)を慕(シタ)ひ奉(マツ)る

別(ワカ)れ悲(カナ)しむ御(ミ)ゆきの

御(ミ)ゆきを御(ミ)ゆきと知(シル)之(ノ)字(モジ)を語(カタラ)ふ

○朝庭(アサトノ)ハ公(オホヤケ)の庭(ニハ)を云(イフ)

○御執(トラシ)ハ佐伯(サヘキ)の枕詞(マクラコトバ)を以(モテ)弓(ユミ)を射(イ)ることを以(モテ)云(イヘ)り

○伊縁立之(ヨシタヽシ)ハ

御(ミ)ゆきを伊波(イハ)ひ奉(マツ)ることの類多(タグヒ)し

立之(タヽシ)ハ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

[illegible] 多都又五[illegible]
[illegible]と別す [illegible]と迄[illegible]
[illegible]てかうかをるもの ○梓弓
槻弓をかもあれと梓
弓ハをるなをり

○李如頭云をハ或説なり長頭をて弓未ハもろハ
勁をるの意をて得也今案をハ第十四巻よ安豆左
由美須恵尓多麻未吉可久須
酒曽宮菜那里尓思

於久乎可奴加奴をかよ依ハ
[illegible]ハあるハ如[illegible]も頭をてそ
の字なをとハ[illegible]ハ誤れ吟鏑をもやとも
とハいへ[illegible]ハ四之ハ心又頭ハ
[illegible]あるてもあるハ弦の誤をて中弦(ツル)元鞆
の[illegible]古へ令律をの
[illegible]
つゐ疑[illegible]
[illegible]
○[illegible]

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

反哥

古言ハ一句ヨリ数言ヲ云ヒ下ノ句ニ
一言ヲ云ヒ一言ノ云フヤウ

○馬数而ハ集中ヨリ馬並而トアル
ヲ見テ云ヒシヤウニ
（なべてを通頭まで同ヨウナリ）

○朝布麻須等六ハ毛ヨリ約ル文ヨ
リ云ヒ獣ヲカケテ云フ心
（もれり）

語ヲ云フヨリ

○甚草原野 この添ハ乃加ハヲ
反セハ添ヒ云フヤウニ約ル通
リテ添ル氣ト云ヘリ

第六巻 赤人

朝猟ヲ

里躍立馬並而御猟曽立為 春之茂野ヲ
十六 慶起夕狩ヲ十
く同シ 古ヘハ春ノ山野ノ多キヲ春ヲ
ハヒ云ヒ秋ヲ

幸讃岐國安益郡之時軍王見山作歌

安益郡ハ和名抄ニ阿野（綾）ト

○軍王ノ傳ヘナシ

○幸ハ車駕所至以為儀幸ニテ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

…ものを旦幸を古…

…いでまたと例しく又御行…　天皇行幸太上天皇
…武…よりは不参して西宮…よりの…　…御幸と…
…ものを聞きて…作歌…

霞立長春日乃晩家流和豆肝之良受樹肝乃心乎痛
見奴要子鳥卜歎居者珠手次懸乃宜久遠神吾大王
乃行幸能山越風乃獨座吾衣手雨朝夕尓還比奴禮
…丈登念有我母草枕客尓之有者思遣鶴寸乎白
…綱能浦之海處女等之燒塩乃念曽所焼吾下情

霞ゆく遥日乃久へにいまる客…
…くことを無さりさて久一乃景…
…をもとへ…
…ふをいまひて…
…詰乃むはいわ乃…
後世乃…

○霞立ハ第五巻ニ再須良都那我收波流甲子

と假字あり　こゝろとして訓をつけたり　長八陽句のみ

○和豆肝（肝ハ借字）云云ハ　鞆（ワカヤツキ）著（ツキ）不知の誤なるべし　次のごとき行を四しくて常に著もらぬをいふなり

○村肝乃心辛痛云云の村ハ群の誤日本紀に心肝を肝のこゝろと訓り　字書にも肝　要也とをいて君ふるうきをこゝろに繋ていふなり

○奴要子鳥ト歎居者ハ獨居乃なげきをいふ　評に

聲あるをもて鶯とせり　集中春をもて鶯の集中春をもて鶯の集中春をもて鶯の

○獨座ハ旅の物者ㇾまて今ゟ
ㇾ生ㇾ
○思遣鶴寸 幸白土 これハ心中ノ想を他ㇾ遣ㇾ
ゟ事由を不知ㇾ
トリツヽ古ㇾ 古ハ後世ノ借字
ㇾ 寸の和語をきゝ云
後世ノ借字 鳥の寸よの訛
上乃和ㇾ
ㇾ ○鶴寸ハ借字ㇾて手著の義
ㇾ 後ハ雑著の衣 便ハ手由

のあるなく對ㇾて知ㇾ此借集中ㇾ 多豆寸多土仮田鳴
田舟ㇾ字を借音
を過てゟる
ㇾ多き事ㇾ第十二ㇾ 念ハ流跡狀毛戔
者今者無妹不相而年之経行者ㇾあるㇾ又同ㇾ
立而居為便乃田時毛今者無妹不相而月乃経
去者ㇾの畢竟同ㇾなるに跡狀ㇾ
昂ㇾうㇾ訓ㇾべくてㇾ
玄良久乃田舟毛不。居久乃於久鴨不知ㇾ
跡狀を今ㇾ字ㇾ
ㇾ訓ㇾハ借字例ㇾ

古今集

の二ところにて云ふ水と云ふ意なり大
海乃田時と不知とあるところにて寡をし且つづき
のつを清つ〻借字なるべし鶴すゝる和豆倍
出〻礼ば心 ○白土ハ借字なるべし
土のを沼にて集ひ
胡粉(シラニ)をも造てう
いつゝ尓ハ祢(ニ)の通 祢(ネ)ハ提(デ)ま
もこの例
○細鮭浦之云云ハ和名抄(ヨ)云讃岐國鵜足(ウタリ)郡よ津

野(都乃)の〻ことをハ綱(アミ)まと
古人野(農芽)の字をハ奴と云ふ
いつ秋ハ和名抄に津郡とあるハ
津乃を国しハ古例をもて
津乃を国しハ古例をもて
これ旦右の都(ヅ)乃(ノ)ハナイの音
なり云々これ乃ハ格あるなり
地(ヂ)和名抄の郡を依ま安芸郡よ隊(ヲチ)て
よ云ふ云ハ即ち所見(ミユル)なり
修(ヲサ)令角席を都奴(ヌガ)賀とひ
石蒜(ヒガン)を石蒜(イシビ)とも勢(ヘ)
をゝこゝるまゝ

○名所焼の後ハ上の句ともいふ

よく後ろをるし味をかふ所ハ云

又歌

山越乃風手時自見寐夜不落家在妹手懸而小竹櫃

これハ冬二老よ三吉野乃山下風ハ寒久矢當也越衣毛

吾獨時寐よりハ古今集よ秋風ハ身ニしミ夜乃ふけ行ハ

まるよ同し

○山越ゝゝハ古今集よ甲斐ゝねと那ゝ

○時自見ハ山越の風乃時ゝてゝ

とゝ下よ時無ゝ雪者降家流物本云時自久降雪

ゝよ今日ハ非時香菓こゝハ

のこゝハ山ゝゝ夜深行早夜ハ

の語を切て意ゝとゝ續くゝ

云ゝゝ真よいつゝ山ゝゝ

ゝゝ

○寐夜不落ハ一夜も不漏ゝゝ

よゝゝ夜ゝいふ意ゝ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

遺(のこ)れるのみにて旧(もと)の

○家在(いへあ)ると帰(かへ)るの妻をよめる歌

妹(いも)があると且(かつ)行(ゆ)く行(ゆ)く鹿島(かしま)の崎(さき)を

見(み)れば家(いへ)のあたりも

○黙(もだ)而小竹櫃(しのひつ)としたる所の歌

黙(もだ)てをも妹(いも)が遠(とほ)くも行(ゆ)かなくに

小竹(しの)櫃(ひつ)乎(を)

としたる古事記云小竹(しの)櫃(ひつ)

如(ごと)し

1ハ去(い)のこ且(かつ)行(ゆ)く幕(まく)をこの

忍(おし)ハ今(いま)おもふをもなほ

通例(つうれい)し

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

のかまをくりて新(あら)きかまを

流(なが)すなるべし

△右撥日本書紀無幸於讃岐國云云この行幸ハ

歸明紀をかきたるなり十一年冬十月幸伊豫温湯宮十

二年夏四月還とあれハ十二月の春作(よめ)る讃岐(さぬき)

行幸(みゆき)まもなくして泊瀬(はつせ)なる人丸の所為(しわざ)と

之(これ)ハ類聚歌林又風土記等(など)にて

まことに多くハ後人(のちのひと)の倶(とも)に

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

明日香川原宮御宇天皇代

天豊財重日足姫天皇

高市郡岡本宮同地也

額田王　未詳

姫王ハ天武紀云天智紀
市皇女〻　鏡王ノ女
天武紀ニモ見ユ

蚊

金野乃美草苅葺屋杼禮里之
磯所念　磯宇ヲ
作ル

右ノ一首ハ或本ニ曰ク
ノ宮子姥借五百

らまに祝臣先道まて送り奉りしゆゑに
大和乃重ね何乃所以しと従乃ふく第十三巻
今よも大和もの石一の石ゆ
くて古へより行き伝ひ来ぬ一地ものゆゑ
さいふこと

○借(カリ)五百磯所(オモホソ)会乃五百ハ借字ニ而果して保
の訓もる例あり又所会もくふく所思所知所
温もと乃所のまゝ利益禮の語よりも且こゝハ

おもひもれ当を異てもよ
も多もとりよみをよ所乃
但公平之其念 癒逝衣念もも
を右乃ふく書しもるをハ
異朝の書よ為水所溺もをもつ
此実注乃時為をも多と為しもる
をもつ
矣もり

△右檜山上憶良(大夫)類聚歌林曰一書戊申年幸比良
宮大御歌 これハ引もるもの乃伊代もよ

額田王歌

熟田津尓舟乗世武登月待者潮毛可奈比沙尓今者許藝乞菜

齊明天皇七年筑紫へ行幸の時伊予の熟田津の石湯行宮に御坐給ふを紀ところ

と月を待ば月も汐も満て時も今こそ漕出らめと

此一首は書まぎれたるか

○熟田津 此三字備考に脱ス 尓ハ日本紀に麻と

○乞菜ハ日本紀に麻乞 麻を写ス誤云歟 伊提 この集には波

伊提 古写本ともに加多と

伊提と訓て出の借字とし今およばれぬと訓るは

訓例もて之こげこぎと訓る

もり藝の字集中古文をぎの濁言よのうもめてげ

ともともるなし 又乞を伊提とも一きを提とも訓

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

る八上の摩乃語よりして伊乃
中畧語乃おもて其上出をい揭ものこよりよう蛛集
中まち一昂彼まも出あるとて知
公極山上憶良大夫類聚歌林曰飛鳥岡本宮御
宇天皇 諡明天皇 元年己丑 此年辛酉湯宮のす所見と
也の只昂注の年と筆人称紀を
沿し 九年丁酉十二月己巳朝壬午 九年より此すなし既
十二月己巳朝壬午幸于伊豫湯宮と上の事を云下ま十一年
紀の文と合しるとらくまも九年もあるハ誤
歟湯宮 右十一年大后と行給まも
所見元本の注語多くれハ仕し 後岡本宮馭宇
天皇七年 云云 この七年より下五十四年まハ紀の文しまち年今まよ
西征の西を脱而熟を熟まち脱るハ誤字し
所以 因製歌詠為之哀傷也 この所以以下ハ注者の文
哀傷とらまハ奇明の御孫
多氣田王八歳まて薨多へるを天皇甚傷うらて大御歌紀よ
見ゆまて四年冬十月幸紀伊湯宮しるいて又大御歌紀よあり
て又大御歌紀よあり
もまもまもまも

昂此歌者天皇御製焉但額田王
歌者別有四首
まて作るあ紀ハ此ハ注の文日本紀
ハ哀傷うまる事句紀ハ此ハ注の文
まて依て注ある事あるやまもう
幸于紀温泉之時額田王作歌 紀のまて伊まを脱うめて
まて乃語とうハし

斉明紀云四年冬十月庚戌朔甲子幸紀温湯天皇
憶皇孫建王悼不悲泣乃口号曰ミ五年春正月
己卯天皇至自紀温湯ミこゝに改元して右御口号
紀ま見ゆ
莫嚢圓隣之大相七兄爪謁氣吾瀬子之射立為第五
可新何本
以下乃一二の句いまもへきやうなれ且諸本の字
異あり一本ハ莫嚢圓隣之一本ハ莫嚢圓慷之
又第二句と一本大お土兄爪湯氣ま作り一本ハ爪を
爪ま作り今試ニこゝに改めて意ま以て
訓ミハ
莫嚢圓隣ノ之大相上兄雷湯氣吾勢子之伊立為
第五可新何本 又莫嚢圓慷大お土兄雷氣
謂ハ大海人皇子 天武
ナ名 同ク従駕シて紀伊
の山路を久月乃ミ紀程ま越ル人ハ其處乃檜之
木ま立て望ミ見ル歌と同ク額田王同倩
奉ル名自ま泣て坐ヘル歌ノ

下の當生部御猟ろ何ぬて昭和をんてそうへし又吾瀬ろ
まあると大海人皇と申しそうすい古本の集書云奉二
天武天皇奉しこと記田主ぶ決君いまろ皇ろまろ多ろ
夫人まて時世よろろ人いなろ
○今本此訓いいろあるまろ多ろ
ろ何ろれい稽ろろて何ろ莫莫い萬勤止て莫無い久
べ因隣い望月ま迎き多秋和れい此五字ろ久月之と
の河し ○第二句の大お土い 土今本郷七い蓋山ヤに
訓よあるりてま嶺おろま座す兄い當代死
ろ
風い調い露の一字ろ
ろて先の露風い清けぶ多河ろ
月夜ま孤
まへさく ○或本 登白
國樣い假字ろ大お土い大のろ 先露風いな
りてそうもむ 先假 ○吾瀬子之い君ろ
同し ○吾瀬子之い君ろ
ろれい夫ろまろ別ぬれい大海人皇ろまろ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

○伊立為兼の伊い誉語と立をうたひ刈るは
当こゝ語まて集中通例之為兼い集まるゝ
まゝるゝ○ゝゝいか普ま為兼の字を借りてな
かまゝ刈やるい立まる欲てゝ
ゝねとうふゝ通てホのてまをいなるもありスホの沼を
ゟまゝつまるまホまいまゝまホまゝまゝ助るまホまゝ
多く今いゝを
助まゝ格まゝ

○五可彩何本これい巌橿之本てゝ為ゝてゝ山

好まゝまゝて筆ゝれゝまゝるゝゝ垂仁紀云以天照太
神鎮坐於磯城巌橿之本而祠之まゝ古支記雄略
御宇まゝ英母呂能伊都加斯賀母登加斯賀母登
まゝこれ等まゝゝ但五の字い清言まゝ借まい
能字ゟまゝい活用を名詞例ゝいつまゝまゝ時いまゝて
まゝまゝ解易まゝまゝを
つまゝ志ゝ
伊足ゝゝゝくいゝて刈まゝまゝゝゝ二の句を枕
古ホまゝてまゝまゝゝ今ホまゝまゝて

訓をえたり　右の歌は或る書には名河
行幸時の歌
を得へし

中皇命往于紀伊温泉之時御歌　三首

吾ハ既ニ
三首の字目録ニ
猶ありしかとも
後ノ注
なり

君之歯母　吾代毛　所知哉磐代乃岡之草根乎　吉来結

手ナ
名

君とゝまゝ蓋吏君を待ん永旦その吏君よ待ひて

おゝ待つ度をゝゝ紀伊国日高郡岩代岡まて到て

第六巻ニ重出
第十二巻ニ妹門去過不得而草結風吹解勿又将顧

こゝろの得をゝゝ

東五百四十一次ま云中皇命乃行幸ハ間人皇女ま
へ従ま奉ひま人連老乃女ま也ま
老ま以間人連ま乃ま也ま
るのめまてまいてハいこまま

吾背子波借廬作良須草無者小松下乃草乎苅核

○苅核の借ハ借字ま

○一ま第十老ま蜓野之尾花刈副秋芽子之花
辛葦核君之借廬

吾欲之野島波見世追底深伎阿胡根浦乃珠曽不
拾
或頭云吾欲
予島羽見遠

吾見まくま欲ま野島ハいさまひて吾ま合見ぬ
まぐ乃胡根の浦乃波乃ま珠ま拾ま
数きまし珠ま

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

○此度ハ蓋有明天皇伊豫乃湯（温）ニ幸ましまし御遊ありまし播磨乃中南卿を遣はされ大和乃三の山てうたを詠ませ給ふ一首

神乃ごとよりてこそ

高山波（タカヤマニハ）雲根火雄男志等（ウネビヲナシト）耳梨與相諍競伎（ミヽナシトアヒイスロヒキ）神代從（カミヨヨリ）如此（カクニ）有良之（アレラシ）古昔（イニシヘ）母然（モシカ）爾有許曾（ニアレコソ）虚蝉毛嬬（ウツセミモツマ）乎相格良（ヲアヒカラ）思吉（シキ）

香山てふ女山とハ畝傍と耳梨の二山れ男山各自よ

好んとて相爭競ひそうらふまでて

神代より此乃ごとくそうらふ實古昔も然

てそ今時題ま立人ま妻聘ま

也ひおうまハ播磨風土記ま出雲國乃蒼大神阿大和

國畝火香山耳梨三山相阿以此欲諫止上来之時

到於此處乃聞闘止覆其所乗之船而坐之故號神

集之形覆ごとく右御歌ハ古支ま依て今人の上を

ごとくまた詠ませ給ふ

上を歎き給ふ意なるべし

○一女を二男れ爭ひ娶ふ事

女を類ひ集まくる數あれば

山河の闕しものたぐひ

まれなるべし

○高山は香山なり此山神代より貴き地

天より且大和の國備山下乃國第一の

名山なるべし

山なれば

○耳梨は耳成の誤なり

耳梨は耳成の

誤なるべきの

ことなれば雄男志と

書るも誤なるべし

但神名式祝詞式等には多くこのごとく

耳梨と書り

且雄男志とは續て男めきて雄々

しき意なるべし

云りてよき耳梨なりけり二山は男うるを

爭ふ故

る名耳梨は古書には雄古と

國十市郡にて神名式には

山なれども

是欤

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

○相神競(一)(校)こと今かくあひきそふ

(一)競の字を用ゐる例多し

(二)記

(三)集

(四)

(五)

(六)

(七)

(八)

(九)

(十)

(十一)

(十二)

(十三)

(十四)

(十五)

(十六)

(十七)

(十八)

(十九)

(二十)

(二十一)

(二十二)

(二十三)

(二十四)

(二十五)

(二十六)

(二十七)

(二十八)

(二十九)

(三十)

(三十一)

(三十二)

(三十三)

(三十四)

(三十五)

(三十六)

(三十七)

(三十八)

(三十九)

(四十)

(四十一)

(四十二)

(四十三)

(四十四)

(四十五)

(四十六)

(四十七)

(四十八)

(四十九)

(五十)

(五十一)

(五十二)

(五十三)

(五十四)

(五十五)

(五十六)

(五十七)

(五十八)

(五十九)

(六十)

(六十一)

(六十二)

(六十三)

(六十四)

(六十五)

(六十六)

(六十七)

(六十八)

(六十九)

(七十)

(七十一)

(七十二)

(七十三)

(七十四)

(七十五)

(七十六)

(七十七)

(七十八)

(七十九)

(八十)

(八十一)

(八十二)

(八十三)

(八十四)

(八十五)

(八十六)

(八十七)

(八十八)

(八十九)

(九十)

(九十一)

(九十二)

(九十三)

(九十四)

(九十五)

(九十六)

(九十七)

(九十八)

(九十九)

(百)

(百一)

(百二)

(百三)

(百四)

(百五)

(百六)

(百七)

(百八)

(百九)

(百十)

(百十一)

(百十二)

(百十三)

(百十四)

(百十五)

(百十六)

(百十七)

(百十八)

(百十九)

(百二十)

(百二十一)

(百二十二)

(百二十三)

(百二十四)

(百二十五)

(百二十六)

(百二十七)

(百二十八)

(百二十九)

(百三十)

(百三十一)

(百三十二)

(百三十三)

(百三十四)

(百三十五)

(百三十六)

(百三十七)

(百三十八)

(百三十九)

(百四十)

(百四十一)

(百四十二)

(百四十三)

(百四十四)

(百四十五)

(百四十六)

(百四十七)

(百四十八)

(百四十九)

(百五十)

(百五十一)

(百五十二)

(百五十三)

(百五十四)

(百五十五)

(百五十六)

(百五十七)

(百五十八)

(百五十九)

(百六十)

(百六十一)

(百六十二)

(百六十三)

(百六十四)

(百六十五)

(百六十六)

(百六十七)

(百六十八)

(百六十九)

(百七十)

(百七十一)

(百七十二)

(百七十三)

(百七十四)

(百七十五)

(百七十六)

(百七十七)

(百七十八)

(百七十九)

(百八十)

(百八十一)

(百八十二)

(百八十三)

(百八十四)

(百八十五)

(百八十六)

(百八十七)

(百八十八)

(百八十九)

(百九十)

(百九十一)

(百九十二)

(百九十三)

(百九十四)

(百九十五)

(百九十六)

(百九十七)

(百九十八)

(百九十九)

(二百)

(二百一)

(二百二)

(二百三)

(二百四)

(二百五)

(二百六)

(二百七)

(二百八)

(二百九)

(二百十)

(二百十一)

(二百十二)

(二百十三)

(二百十四)

(二百十五)

(二百十六)

(二百十七)

(二百十八)

(二百十九)

(二百二十)

(二百二十一)

(二百二十二)

(二百二十三)

(二百二十四)

(二百二十五)

(二百二十六)

(二百二十七)

(二百二十八)

(二百二十九)

(二百三十)

(二百三十一)

(二百三十二)

(二百三十三)

(二百三十四)

(二百三十五)

(二百三十六)

(二百三十七)

(二百三十八)

(二百三十九)

(二百四十)

(二百四十一)

(二百四十二)

(二百四十三)

(二百四十四)

(二百四十五)

(二百四十六)

(二百四十七)

(二百四十八)

(二百四十九)

(二百五十)

(二百五十一)

(二百五十二)

(二百五十三)

(二百五十四)

(二百五十五)

(二百五十六)

(二百五十七)

(二百五十八)

(二百五十九)

(二百六十)

(二百六十一)

(二百六十二)

(二百六十三)

(二百六十四)

(二百六十五)

(二百六十六)

(二百六十七)

(二百六十八)

(二百六十九)

(二百七十)

(二百七十一)

(二百七十二)

(二百七十三)

(二百七十四)

(二百七十五)

(二百七十六)

(二百七十七)

(二百七十八)

(二百七十九)

(二百八十)

(二百八十一)

(二百八十二)

(二百八十三)

(二百八十四)

(二百八十五)

(二百八十六)

(二百八十七)

(二百八十八)

(二百八十九)

(二百九十)

(二百九十一)

(二百九十二)

(二百九十三)

(二百九十四)

(二百九十五)

(二百九十六)

(二百九十七)

(二百九十八)

(二百九十九)

(三百)

(三百一)

(三百二)

(三百三)

(三百四)

(三百五)

(三百六)

(三百七)

(三百八)

(三百九)

(三百十)

(三百十一)

(三百十二)

(三百十三)

(三百十四)

(三百十五)

(三百十六)

(三百十七)

(三百十八)

(三百十九)

(三百二十)

(三百二十一)

(三百二十二)

(三百二十三)

(三百二十四)

(三百二十五)

(三百二十六)

(三百二十七)

(三百二十八)

(三百二十九)

(三百三十)

(三百三十一)

(三百三十二)

(三百三十三)

(三百三十四)

(三百三十五)

(三百三十六)

(三百三十七)

(三百三十八)

(三百三十九)

(三百四十)

(三百四十一)

(三百四十二)

(三百四十三)

(三百四十四)

(三百四十五)

(三百四十六)

(三百四十七)

(三百四十八)

(三百四十九)

(三百五十)

(三百五十一)

(三百五十二)

(三百五十三)

(三百五十四)

(三百五十五)

(三百五十六)

(三百五十七)

(三百五十八)

(三百五十九)

(三百六十)

(三百六十一)

(三百六十二)

(三百六十三)

(三百六十四)

(三百六十五)

(三百六十六)

(三百六十七)

(三百六十八)

(三百六十九)

(三百七十)

(三百七十一)

(三百七十二)

(三百七十三)

(三百七十四)

(三百七十五)

(三百七十六)

(三百七十七)

(三百七十八)

(三百七十九)

(三百八十)

(三百八十一)

(三百八十二)

(三百八十三)

(三百八十四)

(三百八十五)

(三百八十六)

(三百八十七)

(三百八十八)

(三百八十九)

(三百九十)

(三百九十一)

(三百九十二)

(三百九十三)

(三百九十四)

(三百九十五)

(三百九十六)

(三百九十七)

(三百九十八)

(三百九十九)

(四百)

(四百一)

(四百二)

(四百三)

(四百四)

(四百五)

(四百六)

(四百七)

(四百八)

(四百九)

(四百十)

(四百十一)

(四百十二)

(四百十三)

(四百十四)

(四百十五)

(四百十六)

(四百十七)

(四百十八)

(四百十九)

(四百二十)

(四百二十一)

(四百二十二)

(四百二十三)

(四百二十四)

(四百二十五)

(四百二十六)

(四百二十七)

(四百二十八)

(四百二十九)

(四百三十)

(四百三十一)

(四百三十二)

(四百三十三)

(四百三十四)

(四百三十五)

(四百三十六)

(四百三十七)

(四百三十八)

(四百三十九)

(四百四十)

(四百四十一)

(四百四十二)

(四百四十三)

(四百四十四)

(四百四十五)

(四百四十六)

(四百四十七)

(四百四十八)

(四百四十九)

(四百五十)

(四百五十一)

(四百五十二)

(四百五十三)

(四百五十四)

(四百五十五)

(四百五十六)

(四百五十七)

(四百五十八)

(四百五十九)

(四百六十)

(四百六十一)

(四百六十二)

(四百六十三)

(四百六十四)

(四百六十五)

(四百六十六)

(四百六十七)

(四百六十八)

(四百六十九)

(四百七十)

(四百七十一)

(四百七十二)

(四百七十三)

(四百七十四)

(四百七十五)

(四百七十六)

(四百七十七)

(四百七十八)

(四百七十九)

(四百八十)

(四百八十一)

(四百八十二)

(四百八十三)

(四百八十四)

(四百八十五)

(四百八十六)

(四百八十七)

(四百八十八)

(四百八十九)

(四百九十)

(四百九十一)

(四百九十二)

(四百九十三)

(四百九十四)

(四百九十五)

(四百九十六)

(四百九十七)

(四百九十八)

(四百九十九)

(五百)

(五百一)

(五百二)

(五百三)

(五百四)

(五百五)

(五百六)

(五百七)

(五百八)

(五百九)

(五百十)

(五百十一)

(五百十二)

(五百十三)

(五百十四)

(五百十五)

(五百十六)

(五百十七)

(五百十八)

(五百十九)

(五百二十)

(五百二十一)

(五百二十二)

(五百二十三)

(五百二十四)

(五百二十五)

(五百二十六)

(五百二十七)

(五百二十八)

(五百二十九)

(五百三十)

(五百三十一)

(五百三十二)

(五百三十三)

(五百三十四)

(五百三十五)

(五百三十六)

(五百三十七)

(五百三十八)

(五百三十九)

(五百四十)

(五百四十一)

(五百四十二)

(五百四十三)

(五百四十四)

(五百四十五)

(五百四十六)

(五百四十七)

(五百四十八)

(五百四十九)

(五百五十)

(五百五十一)

(五百五十二)

(五百五十三)

(五百五十四)

(五百五十五)

(五百五十六)

(五百五十七)

(五百五十八)

(五百五十九)

(五百六十)

(五百六十一)

(五百六十二)

(五百六十三)

(五百六十四)

(五百六十五)

(五百六十六)

(五百六十七)

(五百六十八)

(五百六十九)

(五百七十)

(五百七十一)

(五百七十二)

(五百七十三)

(五百七十四)

(五百七十五)

(五百七十六)

(五百七十七)

(五百七十八)

(五百七十九)

(五百八十)

(五百八十一)

(五百八十二)

(五百八十三)

(五百八十四)

(五百八十五)

(五百八十六)

(五百八十七)

(五百八十八)

(五百八十九)

(五百九十)

(五百九十一)

(五百九十二)

(五百九十三)

(五百九十四)

(五百九十五)

(五百九十六)

(五百九十七)

(五百九十八)

(五百九十九)

(六百)

(六百一)

(六百二)

(六百三)

(六百四)

(六百五)

(六百六)

(六百七)

(六百八)

(六百九)

(六百十)

(六百十一)

(六百十二)

(六百十三)

(六百十四)

(六百十五)

(六百十六)

(六百十七)

(六百十八)

(六百十九)

(六百二十)

(六百二十一)

(六百二十二)

(六百二十三)

(六百二十四)

(六百二十五)

(六百二十六)

(六百二十七)

(六百二十八)

(六百二十九)

(六百三十)

(六百三十一)

(六百三十二)

(六百三十三)

(六百三十四)

(六百三十五)

(六百三十六)

(六百三十七)

(六百三十八)

(六百三十九)

(六百四十)

(六百四十一)

(六百四十二)

(六百四十三)

(六百四十四)

(六百四十五)

(六百四十六)

(六百四十七)

(六百四十八)

(六百四十九)

(六百五十)

(六百五十一)

(六百五十二)

(六百五十三)

(六百五十四)

(六百五十五)

(六百五十六)

(六百五十七)

(六百五十八)

(六百五十九)

(六百六十)

(六百六十一)

(六百六十二)

(六百六十三)

(六百六十四)

(六百六十五)

(六百六十六)

(六百六十七)

(六百六十八)

(六百六十九)

(六百七十)

(六百七十一)

(六百七十二)

(六百七十三)

(六百七十四)

(六百七十五)

(六百七十六)

(六百七十七)

(六百七十八)

(六百七十九)

(六百八十)

(六百八十一)

(六百八十二)

(六百八十三)

(六百八十四)

(六百八十五)

(六百八十六)

(六百八十七)

(六百八十八)

(六百八十九)

(六百九十)

(六百九十一)

(六百九十二)

(六百九十三)

(六百九十四)

(六百九十五)

(六百九十六)

(六百九十七)

(六百九十八)

(六百九十九)

(七百)

(七百一)

(七百二)

(七百三)

(七百四)

(七百五)

(七百六)

(七百七)

(七百八)

(七百九)

(七百十)

(七百十一)

(七百十二)

(七百十三)

(七百十四)

(七百十五)

(七百十六)

(七百十七)

(七百十八)

(七百十九)

(七百二十)

(七百二十一)

(七百二十二)

(七百二十三)

(七百二十四)

(七百二十五)

(七百二十六)

(七百二十七)

(七百二十八)

(七百二十九)

(七百三十)

(七百三十一)

(七百三十二)

(七百三十三)

(七百三十四)

(七百三十五)

(七百三十六)

(七百三十七)

(七百三十八)

(七百三十九)

(七百四十)

(七百四十一)

(七百四十二)

(七百四十三)

(七百四十四)

(七百四十五)

(七百四十六)

(七百四十七)

(七百四十八)

(七百四十九)

(七百五十)

(七百五十一)

(七百五十二)

(七百五十三)

(七百五十四)

(七百五十五)

(七百五十六)

(七百五十七)

(七百五十八)

(七百五十九)

(七百六十)

(七百六十一)

(七百六十二)

(七百六十三)

(七百六十四)

(七百六十五)

(七百六十六)

(七百六十七)

(七百六十八)

(七百六十九)

(七百七十)

(七百七十一)

(七百七十二)

(七百七十三)

(七百七十四)

(七百七十五)

(七百七十六)

(七百七十七)

(七百七十八)

(七百七十九)

(七百八十)

(七百八十一)

(七百八十二)

(七百八十三)

(七百八十四)

(七百八十五)

(七百八十六)

(七百八十七)

(七百八十八)

(七百八十九)

(七百九十)

(七百九十一)

(七百九十二)

(七百九十三)

(七百九十四)

(七百九十五)

(七百九十六)

(七百九十七)

(七百九十八)

(七百九十九)

(八百)

(八百一)

(八百二)

(八百三)

(八百四)

(八百五)

(八百六)

(八百七)

(八百八)

(八百九)

(八百十)

(八百十一)

(八百十二)

(八百十三)

(八百十四)

(八百十五)

(八百十六)

(八百十七)

(八百十八)

(八百十九)

(八百二十)

(八百二十一)

(八百二十二)

(八百二十三)

(八百二十四)

(八百二十五)

(八百二十六)

(八百二十七)

(八百二十八)

(八百二十九)

(八百三十)

(八百三十一)

(八百三十二)

(八百三十三)

(八百三十四)

(八百三十五)

(八百三十六)

(八百三十七)

(八百三十八)

(八百三十九)

(八百四十)

(八百四十一)

(八百四十二)

(八百四十三)

(八百四十四)

(八百四十五)

(八百四十六)

(八百四十七)

(八百四十八)

(八百四十九)

(八百五十)

(八百五十一)

(八百五十二)

(八百五十三)

(八百五十四)

(八百五十五)

(八百五十六)

(八百五十七)

(八百五十八)

(八百五十九)

(八百六十)

(八百六十一)

(八百六十二)

(八百六十三)

(八百六十四)

(八百六十五)

(八百六十六)

(八百六十七)

(八百六十八)

(八百六十九)

(八百七十)

(八百七十一)

(八百七十二)

(八百七十三)

(八百七十四)

(八百七十五)

(八百七十六)

(八百七十七)

(八百七十八)

(八百七十九)

(八百八十)

(八百八十一)

(八百八十二)

(八百八十三)

(八百八十四)

(八百八十五)

(八百八十六)

(八百八十七)

(八百八十八)

(八百八十九)

(八百九十)

(八百九十一)

(八百九十二)

(八百九十三)

(八百九十四)

(八百九十五)

(八百九十六)

(八百九十七)

(八百九十八)

(八百九十九)

(九百)

(九百一)

(九百二)

(九百三)

(九百四)

(九百五)

(九百六)

(九百七)

(九百八)

(九百九)

(九百十)

(九百十一)

(九百十二)

(九百十三)

(九百十四)

(九百十五)

(九百十六)

(九百十七)

(九百十八)

(九百十九)

(九百二十)

(九百二十一)

(九百二十二)

(九百二十三)

(九百二十四)

(九百二十五)

(九百二十六)

(九百二十七)

(九百二十八)

(九百二十九)

(九百三十)

(九百三十一)

(九百三十二)

(九百三十三)

(九百三十四)

(九百三十五)

(九百三十六)

(九百三十七)

(九百三十八)

(九百三十九)

(九百四十)

(九百四十一)

(九百四十二)

(九百四十三)

(九百四十四)

(九百四十五)

(九百四十六)

(九百四十七)

(九百四十八)

(九百四十九)

(九百五十)

(九百五十一)

(九百五十二)

(九百五十三)

(九百五十四)

(九百五十五)

(九百五十六)

(九百五十七)

(九百五十八)

(九百五十九)

(九百六十)

(九百六十一)

(九百六十二)

(九百六十三)

(九百六十四)

(九百六十五)

(九百六十六)

(九百六十七)

(九百六十八)

(九百六十九)

(九百七十)

(九百七十一)

(九百七十二)

(九百七十三)

(九百七十四)

(九百七十五)

(九百七十六)

(九百七十七)

(九百七十八)

(九百七十九)

(九百八十)

(九百八十一)

(九百八十二)

(九百八十三)

(九百八十四)

(九百八十五)

(九百八十六)

(九百八十七)

(九百八十八)

(九百八十九)

(九百九十)

(九百九十一)

(九百九十二)

(九百九十三)

(九百九十四)

(九百九十五)

(九百九十六)

(九百九十七)

(九百九十八)

(九百九十九)

(千)

(千一)

(千二)

(千三)

(千四)

(千五)

(千六)

(千七)

(千八)

(千九)

(千十)

(千十一)

(千十二)

(千十三)

(千十四)

(千十五)

(千十六)

(千十七)

(千十八)

(千十九)

(千二十)

(千二十一)

(千二十二)

(千二十三)

(千二十四)

(千二十五)

(千二十六)

(千二十七)

(千二十八)

(千二十九)

(千三十)

(千三十一)

(千三十二)

(千三十三)

(千三十四)

(千三十五)

(千三十六)

(千三十七)

(千三十八)

(千三十九)

(千四十)

(千四十一)

(千四十二)

(千四十三)

(千四十四)

(千四十五)

(千四十六)

(千四十七)

(千四十八)

(千四十九)

(千五十)

(千五十一)

(千五十二)

(千五十三)

(千五十四)

(千五十五)

(千五十六)

(千五十七)

(千五十八)

(千五十九)

(千六十)

(千六十一)

(千六十二)

(千六十三)

(千六十四)

(千六十五)

(千六十六)

(千六十七)

(千六十八)

(千六十九)

(千七十)

(千七十一)

(千七十二)

(千七十三)

(千七十四)

(千七十五)

(千七十六)

(千七十七)

(千七十八)

(千七十九)

(千八十)

(千八十一)

(千八十二)

(千八十三)

(千八十四)

(千八十五)

(千八十六)

(千八十七)

(千八十八)

(千八十九)

(千九十)

(千九十一)

(千九十二)

(千九十三)

(千九十四)

(千九十五)

(千九十六)

(千九十七)

(千九十八)

(千九十九)

(千百)

(千百一)

(千百二)

(千百三)

(千百四)

(千百五)

(千百六)

(千百七)

(千百八)

(千百九)

(千百十)

(千百十一)

(千百十二)

(千百十三)

(千百十四)

(千百十五)

(千百十六)

(千百十七)

(千百十八)

(千百十九)

(千百二十)

(千百二十一)

(千百二十二)

(千百二十三)

(千百二十四)

(千百二十五)

(千百二十六)

(千百二十七)

(千百二十八)

(千百二十九)

(千百三十)

(千百三十一)

(千百三十二)

(千百三十三)

(千百三十四)

(千百三十五)

(千百三十六)

(千百三十七)

(千百三十八)

(千百三十九)

(千百四十)

(千百四十一)

(千百四十二)

(千百四十三)

(千百四十四)

(千百四十五)

(千百四十六)

(千百四十七)

(千百四十八)

(千百四十九)

(千百五十)

(千百五十一)

(千百五十二)

(千百五十三)

(千百五十四)

(千百五十五)

(千百五十六)

(千百五十七)

(千百五十八)

(千百五十九)

(千百六十)

(千百六十一)

(千百六十二)

(千百六十三)

(千百六十四)

(千百六十五)

(千百六十六)

(千百六十七)

(千百六十八)

(千百六十九)

(千百七十)

(千百七十一)

(千百七十二)

(千百七十三)

(千百七十四)

(千百七十五)

(千百七十六)

(千百七十七)

(千百七十八)

(千百七十九)

(千百八十)

(千百八十一)

(千百八十二)

(千百八十三)

(千百八十四)

(千百八十五)

(千百八十六)

(千百八十七)

(千百八十八)

(千百八十九)

(千百九十)

(千百九十一)

(千百九十二)

(千百九十三)

(千百九十四)

(千百九十五)

(千百九十六)

(千百九十七)

(千百九十八)

(千百九十九)

(二千)

(二千一)

(二千二)

(二千三)

(二千四)

(二千五)

(二千六)

(二千七)

(二千八)

(二千九)

(二千十)

(二千十一)

(二千十二)

(二千十三)

(二千十四)

(二千十五)

(二千十六)

(二千十七)

(二千十八)

(二千十九)

(二千二十)

(二千二十一)

(二千二十二)

(二千二十三)

(二千二十四)

(二千二十五)

(二千二十六)

(二千二十七)

(二千二十八)

(二千二十九)

(二千三十)

(二千三十一)

(二千三十二)

(二千三十三)

(二千三十四)

(二千三十五)

(二千三十六)

(二千三十七)

(二千三十八)

(二千三十九)

(二千四十)

(二千四十一)

(二千四十二)

(二千四十三)

(二千四十四)

(二千四十五)

(二千四十六)

(二千四十七)

(二千四十八)

(二千四十九)

(二千五十)

(二千五十一)

(二千五十二)

(二千五十三)

(二千五十四)

(二千五十五)

(二千五十六)

(二千五十七)

(二千五十八)

(二千五十九)

(二千六十)

(二千六十一)

(二千六十二)

(二千六十三)

(二千六十四)

(二千六十五)

(二千六十六)

(二千六十七)

(二千六十八)

(二千六十九)

(二千七十)

(二千七十一)

(二千七十二)

(二千七十三)

(二千七十四)

(二千七十五)

(二千七十六)

(二千七十七)

(二千七十八)

(二千七十九)

(二千八十)

(二千八十一)

(二千八十二)

(二千八十三)

(二千八十四)

(二千八十五)

(二千八十六)

(二千八十七)

(二千八十八)

(二千八十九)

(二千九十)

(二千九十一)

(二千九十二)

(二千九十三)

(二千九十四)

(二千九十五)

(二千九十六)

(二千九十七)

(二千九十八)

(二千九十九)

(三千)

(三千一)

(三千二)

(三千三)

(三千四)

(三千五)

(三千六)

(三千七)

(三千八)

(三千九)

(三千十)

(三千十一)

(三千十二)

(三千十三)

(三千十四)

(三千十五)

(三千十六)

(三千十七)

(三千十八)

(三千十九)

(三千二十)

(三千二十一)

(三千二十二)

(三千二十三)

(三千二十四)

(三千二十五)

(三千二十六)

(三千二十七)

(三千二十八)

(三千二十九)

(三千三十)

(三千三十一)

(三千三十二)

(三千三十三)

(三千三十四)

(三千三十五)

(三千三十六)

(三千三十七)

(三千三十八)

(三千三十九)

(三千四十)

(三千四十一)

(三千四十二)

(三千四十三)

(三千四十四)

(三千四十五)

(三千四十六)

(三千四十七)

(三千四十八)

(三千四十九)

(三千五十)

(三千五十一)

(三千五十二)

(三千五十三)

(三千五十四)

(三千五十五)

(三千五十六)

(三千五十七)

(三千五十八)

(三千五十九)

(三千六十)

(三千六十一)

(三千六十二)

(三千六十三)

(三千六十四)

(三千六十五)

(三千六十六)

(三千六十七)

(三千六十八)

(三千六十九)

(三千七十)

(三千七十一)

(三千七十二)

(三千七十三)

(三千七十四)

(三千七十五)

(三千七十六)

(三千七十七)

(三千七十八)

(三千七十九)

(三千八十)

(三千八十一)

(三千八十二)

(三千八十三)

(三千八十四)

(三千八十五)

(三千八十六)

(三千八十七)

(三千八十八)

(三千八十九)

(三千九十)

(三千九十一)

(三千九十二)

(三千九十三)

(三千九十四)

(三千九十五)

(三千九十六)

(三千九十七)

(三千九十八)

(三千九十九)

(四千)

(四千一)

(四千二)

(四千三)

(四千四)

(四千五)

(四千六)

(四千七)

(四千八)

(四千九)

(四千十)

(四千十一)

(四千十二)

(四千十三)

(四千十四)

(四千十五)

(四千十六)

(四千十七)

(四千十八)

(四千十九)

(四千二十)

(四千二十一)

(四千二十二)

(四千二十三)

(四千二十四)

(四千二十五)

(四千二十六)

(四千二十七)

(四千二十八)

(四千二十九)

(四千三十)

(四千三十一)

(四千三十二)

(四千三十三)

(四千三十四)

(四千三十五)

(四千三十六)

(四千三十七)

(四千三十八)

(四千三十九)

(四千四十)

(四千四十一)

(四千四十二)

(四千四十三)

(四千四十四)

(四千四十五)

(四千四十六)

(四千四十七)

(四千四十八)

(四千四十九)

(四千五十)

(四千五十一)

(四千五十二)

(四千五十三)

(四千五十四)

(四千五十五)

(四千五十六)

(四千五十七)

(四千五十八)

(四千五十九)

(四千六十)

(四千六十一)

(四千六十二)

(四千六十三)

(四千六十四)

(四千六十五)

(四千六十六)

(四千六十七)

(四千六十八)

(四千六十九)

(四千七十)

(四千七十一)

(四千七十二)

(四千七十三)

(四千七十四)

(四千七十五)

(四千七十六)

(四千七十七)

(四千七十八)

(四千七十九)

(四千八十)

(四千八十一)

(四千八十二)

(四千八十三)

(四千八十四)

(四千八十五)

(四千八十六)

(四千八十七)

(四千八十八)

(四千八十九)

(四千九十)

(四千九十一)

(四千九十二)

(四千九十三)

(四千九十四)

(四千九十五)

(四千九十六)

(四千九十七)

(四千九十八)

(四千九十九)

(五千)

(五千一)

(五千二)

(五千三)

(五千四)

(五千五)

(五千六)

(五千七)

(五千八)

(五千九)

(五千十)

(五千十一)

(五千十二)

(五千十三)

(五千十四)

(五千十五)

(五千十六)

(五千十七)

(五千十八)

(五千十九)

(五千二十)

(五千二十一)

(五千二十二)

(五千二十三)

(五千二十四)

(五千二十五)

(五千二十六)

(五千二十七)

(五千二十八)

(五千二十九)

(五千三十)

(五千三十一)

(五千三十二)

(五千三十三)

(五千三十四)

(五千三十五)

(五千三十六)

(五千三十七)

(五千三十八)

(五千三十九)

(五千四十)

(五千四十一)

(五千四十二)

(五千四十三)

(五千四十四)

(五千四十五)

(五千四十六)

(五千四十七)

(五千四十八)

(五千四十九)

(五千五十)

(五千五十一)

(五千五十二)

(五千五十三)

(五千五十四)

(五千五十五)

(五千五十六)

(五千五十七)

(五千五十八)

(五千五十九)

(五千六十)

(五千六十一)

(五千六十二)

(五千六十三)

(五千六十四)

(五千六十五)

(五千六十六)

(五千六十七)

(五千六十八)

(五千六十九)

(五千七十)

(五千七十一)

(五千七十二)

(五千七十三)

(五千七十四)

(五千七十五)

(五千七十六)

(五千七十七)

(五千七十八)

(五千七十九)

(五千八十)

(五千八十一)

(五千八十二)

(五千八十三)

(五千八十四)

(五千八十五)

(五千八十六)

(五千八十七)

(五千八十八)

(五千八十九)

(五千九十)

(五千九十一)

(五千九十二)

(五千九十三)

(五千九十四)

(五千九十五)

(五千九十六)

(五千九十七)

(五千九十八)

(五千九十九)

(六千)

(六千一)

(六千二)

(六千三)

(六千四)

(六千五)

(六千六)

(六千七)

(六千八)

(六千九)

(六千十)

(六千十一)

(六千十二)

(六千十三)

(六千十四)

(六千十五)

(六千十六)

(六千十七)

(六千十八)

(六千十九)

(六千二十)

(六千二十一)

(六千二十二)

(六千二十三)

(六千二十四)

(六千二十五)

(六千二十六)

(六千二十七)

(六千二十八)

(六千二十九)

(六千三十)

(六千三十一)

(六千三十二)

(六千三十三)

(六千三十四)

(六千三十五)

(六千三十六)

(六千三十七)

(六千三十八)

(六千三十九)

(六千四十)

(六千四十一)

(六千四十二)

(六千四十三)

(六千四十四)

(六千四十五)

(六千四十六)

(六千四十七)

(六千四十八)

(六千四十九)

(六千五十)

(六千五十一)

(六千五十二)

(六千五十三)

(六千五十四)

(六千五十五)

(六千五十六)

(六千五十七)

(六千五十八)

(六千五十九)

(六千六十)

(六千六十一)

(六千六十二)

(六千六十三)

(六千六十四)

(六千六十五)

(六千六十六)

(六千六十七)

(六千六十八)

(六千六十九)

(六千七十)

(六千七十一)

(六千七十二)

(六千七十三)

(六千七十四)

(六千七十五)

(六千七十六)

(六千七十七)

(六千七十八)

(六千七十九)

(六千八十)

(六千八十一)

(六千八十二)

(六千八十三)

(六千八十四)

(六千八十五)

(六千八十六)

(六千八十七)

(六千八十八)

(六千八十九)

(六千九十)

(六千九十一)

(六千九十二)

(六千九十三)

(六千九十四)

(六千九十五)

(六千九十六)

(六千九十七)

(六千九十八)

(六千九十九)

(七千)

(七千一)

(七千二)

(七千三)

(七千四)

(七千五)

(七千六)

(七千七)

(七千八)

(七千九)

(七千十)

(七千十一)

(七千十二)

(七千十三)

(七千十四)

(七千十五)

(七千十六)

(七千十七)

(七千十八)

(七千十九)

(七千二十)

(七千二十一)

(七千二十二)

(七千二十三)

(七千二十四)

(七千二十五)

(七千二十六)

(七千二十七)

(七千二十八)

(七千二十九)

(七千三十)

(七千三十一)

(七千三十二)

(七千三十三)

(七千三十四)

(七千三十五)

(七千三十六)

(七千三十七)

(七千三十八)

(七千三十九)

(七千四十)

(七千四十一)

(七千四十二)

(七千四十三)

(七千四十四)

(七千四十五)

(七千四十六)

(七千四十七)

(七千四十八)

(七千四十九)

(七千五十)

(七千五十一)

(七千五十二)

(七千五十三)

(七千五十四)

(七千五十五)

(七千五十六)

(七千五十七)

(七千五十八)

(七千五十九)

(七千六十)

(七千六十一)

(七千六十二)

(七千六十三)

(七千六十四)

(七千六十五)

(七千六十六)

(七千六十七)

(七千六十八)

(七千六十九)

(七千七十)

(七千七十一)

(七千七十二)

(七千七十三)

(七千七十四)

(七千七十五)

(七千七十六)

(七千七十七)

(七千七十八)

(七千七十九)

(七千八十)

(七千八十一)

(七千八十二)

(七千八十三)

(七千八十四)

(七千八十五)

(七千八十六)

(七千八十七)

(七千八十八)

(七千八十九)

(七千九十)

(七千九十一)

(七千九十二)

(七千九十三)

(七千九十四)

(七千九十五)

(七千九十六)

(七千九十七)

(七千九十八)

(七千九十九)

(八千)

(八千一)

(八千二)

(八千三)

(八千四)

(八千五)

(八千六)

(八千七)

(八千八)

(八千九)

(八千十)

(八千十一)

(八千十二)

(八千十三)

(八千十四)

(八千十五)

(八千十六)

(八千十七)

(八千十八)

(八千十九)

(八千二十)

(八千二十一)

(八千二十二)

(八千二十三)

(八千二十四)

(八千二十五)

(八千二十六)

(八千二十七)

(八千二十八)

(八千二十九)

(八千三十)

(八千三十一)

(八千三十二)

(八千三十三)

(八千三十四)

(八千三十五)

(八千三十六)

(八千三十七)

(八千三十八)

(八千三十九)

(八千四十)

(八千四十一)

(八千四十二)

(八千四十三)

(八千四十四)

(八千四十五)

(八千四十六)

(八千四十七)

(八千四十八)

(八千四十九)

(八千五十)

(八千五十一)

(八千五十二)

(八千五十三)

(八千五十四)

(八千五十五)

(八千五十六)

(八千五十七)

(八千五十八)

(八千五十九)

(八千六十)

(八千六十一)

(八千六十二)

(八千六十三)

(八千六十四)

(八千六十五)

(八千六十六)

(八千六十七)

(八千六十八)

(八千六十九)

(八千七十)

(八千七十一)

(八千七十二)

(八千七十三)

(八千七十四)

(八千七十五)

(八千七十六)

(八千七十七)

(八千七十八)

(八千七十九)

(八千八十)

(八千八十一)

(八千八十二)

(八千八十三)

(八千八十四)

(八千八十五)

(八千八十六)

(八千八十七)

(八千八十八)

(八千八十九)

(八千九十)

(八千九十一)

(八千九十二)

(八千九十三)

(八千九十四)

(八千九十五)

(八千九十六)

(八千九十七)

(八千九十八)

(八千九十九)

(九千)

(九千一)

(九千二)

(九千三)

(九千四)

(九千五)

(九千六)

(九千七)

(九千八)

(九千九)

(九千十)

(九千十一)

(九千十二)

(九千十三)

(九千十四)

(九千十五)

(九千十六)

(九千十七)

(九千十八)

(九千十九)

(九千二十)

(九千二十一)

(九千二十二)

(九千二十三)

(九千二十四)

(九千二十五)

(九千二十六)

(九千二十七)

(九千二十八)

(九千二十九)

(九千三十)

(九千三十一)

(九千三十二)

(九千三十三)

(九千三十四)

(九千三十五)

(九千三十六)

(九千三十七)

(九千三十八)

(九千三十九)

(九千四十)

(九千四十一)

(九千四十二)

(九千四十三)

(九千四十四)

(九千四十五)

(九千四十六)

(九千四十七)

(九千四十八)

(九千四十九)

(九千五十)

(九千五十一)

(九千五十二)

(九千五十三)

(九千五十四)

(九千五十五)

(九千五十六)

(九千五十七)

(九千五十八)

(九千五十九)

(九千六十)

(九千六十一)

(九千六十二)

(九千六十三)

(九千六十四)

(九千六十五)

(九千六十六)

(九千六十七)

(九千六十八)

(九千六十九)

(九千七十)

(九千七十一)

(九千七十二)

(九千七十三)

(九千七十四)

(九千七十五)

(九千七十六)

(九千七十七)

(九千七十八)

(九千七十九)

(九千八十)

(九千八十一)

(九千八十二)

(九千八十三)

(九千八十四)

(九千八十五)

(九千八十六)

(九千八十七)

(九千八十八)

(九千八十九)

(九千九十)

(九千九十一)

(九千九十二)

(九千九十三)

(九千九十四)

(九千九十五)

(九千九十六)

(九千九十七)

(九千九十八)

(九千九十九)

(一万)

(一万一)

(一万二)

(一万三)

(一万四)

(一万五)

(一万六)

(一万七)

(一万八)

(一万九)

(一万十)

(一万十一)

(一万十二)

(一万十三)

(一万十四)

(一万十五)

(一万十六)

(一万十七)

(一万十八)

(一万十九)

(一万二十)

(一万二十一)

(一万二十二)

(一万二十三)

(一万二十四)

(一万二十五)

(一万二十六)

(一万二十七)

(一万二十八)

(一万二十九)

(一万三十)

(一万三十一)

(一万三十二)

(一万三十三)

(一万三十四)

(一万三十五)

(一万三十六)

(一万三十七)

(一万三十八)

(一万三十九)

(一万四十)

(一万四十一)

(一万四十二)

(一万四十三)

(一万四十四)

(一万四十五)

(一万四十六)

(一万四十七)

(一万四十八)

(一万四十九)

(一万五十)

(一万五十一)

(一万五十二)

(一万五十三)

(一万五十四)

(一万五十五)

(一万五十六)

(一万五十七)

(一万五十八)

(一万五十九)

(一万六十)

(一万六十一)

(一万六十二)

(一万六十三)

(一万六十四)

(一万六十五)

(一万六十六)

(一万六十七)

(一万六十八)

(一万六十九)

(一万七十)

(一万七十一)

(一万七十二)

(一万七十三)

(一万七十四)

(一万七十五)

(一万七十六)

(一万七十七)

(一万七十八)

(一万七十九)

(一万八十)

(一万八十一)

(一万八十二)

(一万八十三)

(一万八十四)

(一万八十五)

(一万八十六)

(一万八十七)

(一万八十八)

(一万八十九)

(一万九十)

(一万九十一)

(一万九十二)

(一万九十三)

(一万九十四)

(一万九十五)

(一万九十六)

(一万九十七)

(一万九十八)

(一万九十九)

(二万)

(二万一)

(二万二)

(二万三)

(二万四)

(二万五)

(二万六)

(二万七)

(二万八)

(二万九)

(二万十)

(二万十一)

(二万十二)

(二万十三)

(二万十四)

(二万十五)

(二万十六)

(二万十七)

(二万十八)

(二万十九)

(二万二十)

(二万二十一)

(二万二十二)

(二万二十三)

(二万二十四)

(二万二十五)

(二万二十六)

(二万二十七)

(二万二十八)

(二万二十九)

(二万三十)

(二万三十一)

(二万三十二)

(二万三十三)

(二万三十四)

(二万三十五)

(二万三十六)

(二万三十七)

(二万三十八)

(二万三十九)

(二万四十)

(二万四十一)

(二万四十二)

(二万四十三)

(二万四十四)

(二万四十五)

(二万四十六)

(二万四十七)

(二万四十八)

(二万四十九)

(二万五十)

(二万五十一)

(二万五十二)

(二万五十三)

(二万五十四)

(二万

思いつゝ居りしくいぎ祥ありま

○相格良思吉ハ真間娘子を詠る寄ま夏虫乃入火之如
水門入ふ舩已具加久歸香具禮人乃言時云ふ久
筑波山の嬥歌云ふ頒布嬥歌ふ他妻我毛交晝
ふ他毛言問ふこゝろ語ふ
婚のすゝめ古語おのづからよまるゝ旦が具ふ留
まつきを結ひてまを借りかへすふ例し○良思吉
ハ吉ハ多くい氣利及みゝ推古紀ふ薨ぜ志吉
又

志ゝてかぐれしこゝろまつきを処て良思吉ふ
多つるゝ良思ハ疑の語し推古紀ふ薨餓能古羅
鳥於明粉弥能免伽破須羅志枳こゝろ

反歌

高山與耳梨山與相之時立見ふ来伊奈美國波良
こゝろいもゝゝ風ふ記ふてゝつゝ但理もい
ゝ耳梨まおんなよい畝火雄男志活ふ一つゝ若あ
そゝそやこゝろをまをてい遺ひもそれいを是

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

のこれる歌、一注云女の歌ハ好悪右よりハ
　　右おいて再ふハ悪ふ
修ふ止ふふと今案る
よし後いむつくふ

○伊奈美國波良ハ古へハ一郡一邑ほてハ國ふり
難波ゟ泊瀬ゟ吉野のくまゝ
ふまふふゝ此ハ而南野ゟ
ふまふふゝ

渡津海乃豊旗雲尓伊理比沙之今夜乃月夜清明己
曾

海天乃白雲よ久日ゟ
なる事ゟれいと長久月先
修ふ歌をハ後世の考ふ今案
乞ゆけ乞ゟあるハ多ハ乞ま
うこげうゟを斜輝
ふゝをハ見ふ今ハ
まゝれうとの考ふ前注ハ古ゟ
違ひり且第三句ゟ下ハ語乃不具ふゝ古

の名く　第三句を訓林来葉とよめれよい伊尼比祢之とあり

入日乃名ら宿る松しといふ唐詩もあるよい古人ハ松ハ那の字ハ須ゑの字ハ波ゐの字ハ伊ゑの字ハ比ハ祢ハ之とあり

入日加(な)のみえてこぬよひの月待つらんハ那須ゑのことくいまもいふなるへし

○渡津海(わたつみ)ハ三字にてつづめて可訓こゝ集及古史よ

ハ渡字まてハ和多都(わたつ)美(み)とのみ書しより旦訓よてハ渡津(わたつ)

海渡乃原(わたのはら)渡中(わたなか)ゝ借字ハ綿津海(わたつみ)ハ方便海(わたつみ)ゝ

書てハ多ハ清訓ゝ多ハ濁ゝ可訓ゝ人ゝよてまちまちに渡

海とハゝゝなとゝ古来山よハ訓ゝ

とゝひゝよハ渡ゝゝゝ旦古史乃ハ必清濁

を正して書しゝゝ和多ゝゝゝ旦しほハ矢

津宮岡津神ゝゝゝほよハ水ハ

瀬(せ)多(た)磐(ぎ)和流(わる)当ハ沸(たぎ)り流ゝゝ

とゝゝ多ゝゝゝ激(たぎ)ゝゝ渡ゝゝ渡

ほゝゝよハ云ゝ　或ハ渡ハ海ゝゝ

よハ湧ゝゝ右のゝゝ多都美ゝゝ

ゝてハ多都美ゝゝ

ゝ渋海の海ゝゝゝ

心すゝゝゝを古ゝゝ

翠浪ゝゝゝ

○豊旗雲ハ豊ハ大也ゝ字注よゝゝ

大江氏ハ藤原氏ニ次ク大族ニシテ学問ヲ以テ家ヲ興シ
如猿雲ノ輩ヲ出シテ世ニ聞エタリ其ノ子孫ニ傳ヘ
ヌルヲ以テ家学ト称スルニ至レリ
○清明二字今ヨリ考フレバ清ハ清原氏明ハ
江氏ニ仍テ名ヅケシ例ノ如シ
文徳実録ニ十三有白雲自良直坤時人謂之旗雲
ト云ヘリ

△右一首歌今案不似古歌且歌詞多訓仮字
於古歌ニハ之有ル於集中乃至ハ諸人ノ努

こゝまでは古歌ニ似たる歌ニ
加へたるなり
和爾海ハ古歌ニ
屈ヒきゝ 此注ハ
おかしき
又元四年ヨリ注ヲ以テ
子ヲ譲リ
多クシテ
多クシテ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

立為皇太子よりも為まい行へ法を一
近江大津宮御宇天皇代　天命開(アメミコトヒラカスワケノ)別天皇
天皇詔(ミコトノリ)大臣(オホオミ)藤原朝臣(フヂハラノアソミ)
天智天皇八年十月中臣鎌子(ナカトミノカマコ)
位旦改中臣賜藤原氏(フヂハラノウヂ)又天武天皇十三年其
男不比等(フビト)等公よ授大織冠為大臣
朝臣(アソミ)姓(カバネ)こゝら紀ゝ而(テ)
如此書しるし奈良朝よ
書ゝものゝ集(アツメ)而(テ)
月ゝのゝゝゝ古ゝ集ゝゝゝ
ゝ時ゝ人ゝ
競懌(キソヒアハレヒラメキ)春山萬花之艶(ニホヒ)秋山千葉之彩(イロフ)時額田王以(テ)歌判(コトワリ)
歌
ゝゝ春秋ゝ競懌ゝゝ
ひゝゝ多日新ゝゝゝ
ゝゝいゝゝゝ
たのちゝつゝ同し物ゝゝ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号　寄別13-33
ガラス使用

例へ千くさの花は一つなれ
冬木成春去来者不喧有之
鳥毛来鳴双不聞有之
花毛作家礒柄山乎茂入而
秋山乃木葉乎見而者黄葉
者置而曽歎之曽許之恨之秋山吾者
花紅葉のごと勝若へるかも春山は草木よれ志ゆゑ
女王の身にて入てもあるべく秋山は夫ゆゑ
慕ふしは入て取よ易し但時よ従ものへのごとあり

ねんごろいふ例ふるまでもあれど入てもあるべく
吾は秋乃山を依よしもあらなくに
なよ秋を惜むと思ふこころを
恵徳まよ春山は入ぬ
古今よみ人しらず
春山のおもしろきを
秋山は入乃
まつて秋山を依の
古一乃句は縦ふまじい云ふ
時よ当りまよ述ぬ
おなさことそ思いふし

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

…ふ事よりて物遠くてまさうといふ心久古来ふ秋
去ふといふ名目にて去ふ借字なるものと
なりたるなるべし通はし
○山平茂 ふるといふ心なり〳〵てと云辞(シヒ)なり下よ春山(ハルさび)の跡
之英佐備(サビ)立有(タテ)ともも乃茂山ともも深て古〳〵春よ
り秋のうつろひを云 ○執手母不見 これ六言句
よし〳〵こゝ乃不見をゝそばと訓りて人のもてなすさまを
をも不分ものゝ
といふことのうつろひやすくうつくしきものを依
まさゝにを
〳〵に

○黄葉平婆 この葉よふ紅を黄葉とよめる事
訓ふもみちも 紅ふ紅水よ絹の
乃出るをよ紅出(ヅ)といふなり
もみでもみづとも云くよ動け
もとよ出の活ふ語なり さて
葉てふをかまもそもそれを
よふ畳〳〵て前ふ乃活もて
ようもんとます時ふ止ふ言を
のまもへきふ集ふ人のわく
也又黄赤二ふもてもみちもよ
ふ畳所乃をもうつろひ
こゝふ慕愛乃意ふ古〳〵ふ
もよ向て懐をふの

○思奴布(シヌブ)

萬雄情無雲乃隠障倍之也

ふれ出来よりし三輪の山乃名称をして

春良山乃山のたゝなり顧して行程を遥よ

雲乃隠てし不見を恨てゝ云く道の八十隈を

隔て遠放るとも我数見やまんを

をゝてゝ是雲の乃隠るあらいと心

○味酒ハ美酒ゝ三輪ゝ味酒守神名ゝ

山ゝあるいゝ冠ゝけをなして五言ゝもしゝ

よい味酒ゝのミかゝゝ

ゝゝ一旦仲哀紀御寿をのミゝゝ

麦名ゝ醸ゝ酒脇ゝ名ゝ

ゝゝ三輪山乃冠辞ゝ

ゝゝ思ゝ常神紀の寿乃例ゝ四七

ゝゝ大物主ゝ

ゝゝ

ゝゝ

ゝ

綴て奉ると申す丹青を別よくす 所見事の鳥と緑を去るものと云ふ漢画の事ほゞ〳〵單なるをいふ

○伊陁伊積 この伊は例の発語

○道隈 こゝは神代紀に於石不足八十隈時陰名 隈坂名 矩磨渡 又人の入まがれる道の行曲る所をいふ所この歌に遠ぞきまして委しくよめる遠くやりてゆくとと

○春曲毛 第三巻に春曲を詠 春曲を つくるくと

訓 こゝは芳乃通音にて宣布てつくる

とひるめを今も乃列は活ける

示賜者 シメシタマヘバ とあるつゞまれるなり

まくるふと可訓 本のまゝ

○見放 は遠ざかりゆくをいふ

まくるしや

見るものゝ遠ざかるをうらむる

人をのまゝにてこゝもおなじ

振放見 振仰而若月見名 書しるせる説あやまれり

○陁落信之也 かくまをして

仮字 仮字又須し

反歌

三輪山乎(ミワヤマヲ)　然毛(シカモ)隠賀雲谷(カクスカクモダニモ)　有南武(アラナム)一本作加(カ)　雲(モ)　者(コソ)　可苦(カク)　有(アラ)　武(ム)　雲(モ)　者(コソ)　雖然(シカレドモ)　猶(ナホ)　隠(カクス)　可(カ)　有(アラ)　歌(カ)　意(ノ

左乃答歌ハ女の風調之旦私我儕とハ指ていふ
さるを心得ぬハ歌林乃註ハ不信を一ツ旦元
らるるにも右乃井戸王乃
ハ元乃まよハ古錯乱多しあるを
かゝハ古集ともあれハ不富の考ふる古書乃
ことさら

○ハ所よ某和歌ともゝ
綜麻形乃林始乃狭野檳榔衣ニツクナス
熟セ

これハ三諸山乃ふもとなる野萩を
衣摺よハいふまでもなく衣乃如くこゝ三諸山を
目よ著て慕ふ吾まれ君よまたおの
ハ山を顧して為ぬ恋をおのが
うらうらぬ心

○綜麻形を三輪山と訓ハ古ふ記 崇神
紀 ハ
活玉依毗賣乃ふもとへ神壮夫乃通ひ
ふるを依毗賣乃ふしぎ
ふるまゝ糸乃ふ環よ牡夫乃衣裾よ針

よ紡麻を要しりてつりてあり

遺る麻三句ありて後絲て多よ至天和

て神代より麻のことを三句遺りてより

少地を名づて謂天和也久もくれ

玉櫛姫續苧條衣至明隨苧尋覓經於芽薄縣陶

邑直指大和國御諸山還視苧遺唯有三紫因之歸

姓大三紫をハ人名おし違

またおいハし

の三字をいて第河りあり

綜麻形

綜ハ和名抄云綜和名

機縷 持絲交者又云 巻云 横絖 續麻因巻名也この二つを合せ

考よ綜麻二字まて見へそ乃多し續りる麻

遺りる麻絲の三紫のうちをいて

紡多を語てきまりて河せりり人多くきまりて号称如天

蓬のうちよりをいを活物多

ありと曰ハ天をいハ物のおしりやい

さる河いるをりとりり

○林始乃ここの一つを多く名訓を以て書しるしいと

こけさりて河とし林を

為し始をまて河るハ本好大和の名まも

尺ありれいと今おまハやしくて河りめして河りハ

○狭野榛能　狭野は地名なり榛は木の名なり能は助字なり

○衣手乃　衣手は袖なり乃は助字なり

○真毛久良布　真毛は全くなり久良布は暮るるなり

○夜之穂杼呂　夜之は助字なり穂杼呂は穂のあたりなり

○山乃末由　山乃は助字なり末由は末へなり

○月乎可母　月を愛でんかもなり

○安之比奇乃　安之比奇は山の名なり乃は助字なり

○山下響　山下は山の麓なり響は音の響くなり

○鳴多頭鴨　鳴多頭は鳴きつるなり鴨は助字なり

○秋風乃　秋風は秋吹く風なり乃は助字なり

○寒吹良之母　寒吹は寒く吹くなり良之は助字なり母は詠嘆の辞なり

○妹乎之思比　妹は女を親しみていふ詞なり乎は助字なり之思比は慕ひなり

○奈良乃山乃　奈良は地名なり乃は助字なり

○黄葉散良武　黄葉は紅葉なり散良武は散るらんなり

○神奈備乃　神奈備は神の住み給ふ所なり乃は助字なり

○三諸之山能　三諸は山の形の美しきをいふ之は助字なり能は助字なり

○帯二為流　帯は山の麓の引きめぐりたるをいふ二為流は為るなり

○泉河乎　泉河は泉川なり乎は助字なり

○清見　清見は清く見ゆるなり

○従古　古より今に至るまでなり

○来乃　来は来りなり乃は助字なり

○瀬々乃　瀬々は川の瀬瀬なり乃は助字なり

○水沫　水沫は水の泡なり

○逝久乃　逝くは流るるなり久乃は助字なり

○如此　如此はかくの如くなり

○見者　見るなり

○貴　貴きなり

○有　有るなり

○山柿之　山柿は山に生ずる柿なり之は助字なり

○本　本は木の本なり

○不改　不改は改まらざるなり

○常　常は常住なり

○将有　将有は有らんなり

○神代従　神代は天地開闢の時なり従は自なり

○然有来　然有来は然り有り来るなり

○奴延久佐乃　奴延久佐は地名なり乃は助字なり

○絶事無　絶事無は絶ゆることなきなり

○名耳乎　名耳は名のみなり乎は助字なり

○山川乎　山川は山と川となり乎は助字なり

○将絶跡　将絶跡は絶えんやなり

○妹之名　妹は女を親しみていふ詞なり之は助字なり名は名を呼ぶなり

○我名　我は我が身なり名は名を呼ぶなり

○将絶哉　将絶哉は絶えんやなり

○白雲乃　白雲は白き雲なり乃は助字なり

○絶多延　絶多延は絶え絶えなり

○為妹　為は為になり妹は女を親しみていふ詞なり

○命　命は命なり

○幸　幸は幸ひなり

○真福　真福は真の福なり

○在与　在与は在らんやなり

○妹之手乎　妹は女を親しみていふ詞なり之は助字なり手は手を取るなり乎は助字なり

○将纏　将纏は纏かんなり

○秋山乃　秋山は秋の山なり乃は助字なり

○木葉　木葉は木の葉なり

○之　之は助字なり

○時雨　時雨は時雨の雨なり

○将会　将会は会はんなり

○妹　妹は女を親しみていふ詞なり

○相　相は相見るなり

○鴨　鴨は助字なり

○秋山乃　秋山は秋の山なり乃は助字なり

○黄葉乎　黄葉は紅葉なり乎は助字なり

○茂　茂は茂りなり

○荒　荒は荒れなり

○勿行　勿行は行くなかれなり

○妹　妹は女を親しみていふ詞なり

○当　当は当てなり

○我　我は我が身なり

○恋将増　恋将増は恋ひまさんなり

○天雲乃　天雲は天の雲なり乃は助字なり

○八重掻別而　八重掻別而は八重に掻き別けてなり

○所念　所念は思ひ出でらるるなり

○君　君は君なり

○鴨　鴨は助字なり

○秋山乃　秋山は秋の山なり乃は助字なり

○下部留　下部留は下葉の紅葉するなり

○時従　時従は時よりなり

○始　始は始めなり

○妹之　妹は女を親しみていふ詞なり之は助字なり

○光儀乎　光儀は容儀なり乎は助字なり

○見　見るなり

○欲　欲は欲しなり

○秋山乃　秋山は秋の山なり乃は助字なり

○木葉　木葉は木の葉なり

○之　之は助字なり

○時雨　時雨は時雨の雨なり

○会　

以集(ミカモトス)水野成(ナス)水(ミ)之流(ナガレ)而結麻成長門(ナガトノ)浦(ウラ)之
数(カズ)〻(〻)屋(ヤ)杼(ド)毛(モ)母(モ)多(タ)久(ク)乎(ヲ)作(ツクリ)而(テ)今(イマ)与(ヨ)伊(イ)奈(ナ)
河(カハ)之(シ)乎(ヲ)(おそれなれ河いさ渡るを)の和(ワ)我(ガ)勢(セ)
乎(ヲ)(わくご女をとりてせとうまれの)
の(ノ)ごとく
八右一首(今案不似和歌但舊本載件次故以掲載)

為(ため)こまいりなん人(妹)の渡(わた)らんと
こころもそてもうるほすや(よく右を解
ことわるそてうるほすとこころえてよめるなり)

ほ(ホ)ゝ(〻)ゑ(ヱ)ミ(ミ)ゝ(〻)の(ノ)ゝ(〻)右の新訓い来まろの千載
の姿(スガタ)とりて

天皇遊獵(カリシタマフ)蒲生野(ニ)時額田王作歌

この野(ノ)は近江(アフミ)蒲生郡(カモフグン)にあるなり之(コレ)字舘
郡内野は類(ルイ)
茜草指(サス)武良(ムラ)前野(サキノ)逝標(ユキシメノ)野(ノ)行(ユキ)
野(ノ)守(モリ)者不見(ミズ)哉君之袖(キミガソデヲ)布
流(ビル)

皇太子菅御歌

鴛草能（ムラスキノ）小保敷（ヲホヘ）鶏（ニハ）妹子（イモヲ）乎苦久（ヲクノ）有者人嬬故（アラハヒトヅマユエ）尓吾戀目（ニワレコヒメ）八方（ヤモ）

日影剌とゝう處清き日射
を云り有よ萬葉剌日とゝ集中よ
標野い禁野をゝよ若菜つゝん
等二共しま雲雨乃大山ゝ若菜誰可山ゝ標結君毛不
有國ゝゝよ野ゝい不見やとあゝ
我い紫野と云ゝ紫草生ゝ野ゝい
古今ゝゝ若野ゝ如何ゝ
ゝゝゝ山吹ゝ生ゝ野ゝい別ゝや、さて次の紫な
ゝゝゝ

能ゝ保數須流味ゝ和へゝよ依ゝ此紫野ゝ宮人ゝ
ゝゝゝ

○野ゝい、さゝ陸乃大ゝ小ゝ野ゝ如く葉野ゝ如ゝ部ゝ置ゝ
ゝゝゝ

○人嬬ゝ他人ゝ妻ゝ云ゝ言ゝ
玄平井細丹人妻跡云者不解物ゝ
色妙ゝ敷見者人妻故妾ゝ可恋奴ゝ
ゝゝゝ

公紀曰天皇七年丁卯夏五月五日縦猟於蒲生

野云云これ日本紀の語と旦雅古紀云五月五日薬
猟於北野云云拾遺今案薬猟ハ今も薬猟ニ擬
小角を取る神うるわしき男十六已上を簡ひ
對うしてに山帝の御猟ニ供奉ス者ハ
の供奉ス者ハ云云ハ此ニ
○天皇者この二字ハ皇太子ニ
内臣ハ鎌子公をいう
以上三月十一日献上
師

明日香清御原宮御宇天皇代 天渟中原瀛真人天皇

元ハ天武天皇ノ御代ニ
伊勢桑名丁西宿館庚云云庚子詣于倭京而御島
宮癸卯自島宮移國本宮是歳営宮室於岡本宮南
即冬遷以居焉是謂飛鳥浄御原宮云云○此標
題ハ御字二字を脱ス日録ニハ
中巻ニハあまねめるうるわしき一云
淳中此云農ハ誤ニ淳名ニ
十市皇女參赴於伊勢神宮時見波多横山巌吹黄刀

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

自(ヨリ)新(アラ)歌

以十市皇女薨時高市皇子尊御作歌

吹黄刀自(フキノトジ)

吹黄刀自ハ以皇女の侍女なるへし

いつ河(カハ)を渡(ワタ)りてきてか吹黄刀自

刀自ハ敬ひ尊ふ詞なり

陸奥(ムツ)の河(カハ)

陸奥の河ハ所をいふ多かるへし

自ハ主と答へて宮ことやとふらひしなるへし但今ハ吹黄ハ刀自ハ老女の称ともいひ乳母をもいふなるへし

○波多(ハタ)八束(ヤツカ)

波多ハ和名抄因幡国巨摩郡に八木 多 あり此ならや

ここもよもとそをる山をいつ河(カハ)の

古今集よみ人しらず

古今集よりくやるさくやめ山ふもとかも

横(ヨコ)山(ヤマ)

河上(カハカミ)乃湯津磐村(ノユツイハムラ)二草(クサ)武佐受(ムサズ)常丹(トコニ)毛(モ)異名常處女(コトナトコヲトメ)黄(キ)

手(テ)

いつも清(キヨ)き谷山川のつつ草も花も実(ミ)もあり

巌のあるをたて品をおく乃

若(ワカ)き乃女(ノメ)ましてあるらや

乃代(ノヨ)とそや実代(ミヨ)のしまみのうらにて

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

いそのあるへしと山川のいよよ
山河上のさ汐よりもいやましに
○河上　紀よりは加ハりて
一しく又次下の河上乃てゝく猶て
を多くもあるよ猶ふかくつけるも
知ることゝ紀よりは今とかゝるのと
かゝるものと別るゝ格則と尺
○湯津巖村　五百箇磐群のまゝ　五百をゆつ
神代紀及祝詞式よ五百箇磐村とも湯津磐村と
同名を出集中ニ五百枝槻とも湯槻とも三十槻と
もあるをもて思ふに湯津杜湯津
ハ枝葉ゆつゝの村
もゝ村ハ群乃ゑゝの義ならむ
清れ
を
○處女ハいまゝ不嫁女をいひて齠女のまゝ
有よ常の小女もあるやうに
のゝ名を設せし女ゝ古へ於ての
清りしなれハ百ゝりしゆゑ

古へ大の服をハ於保小の服をハ平と

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

八紀云天皇四年乙亥春二月乙亥朔丁亥十
市皇女阿倍皇女參赴於伊勢神宮此の行事
如天智天皇四年の事の如くして行はれ
ず

續麻王流於伊勢國伊良虞島之時 此間ま時の字を脱せる歟 人哀傷
作歌

續ハ績ふくなりと古史及式等にも續の字
さてまきうるおなじ

井麻手麻續王白水郎有哉射等籠荷四間乃珠藻苅
麻須

流されましゝ王の伊勢の國にいおてあまのよ
まして王みづから業をもてあそびし事
あれしなれば如此いふなるべし

のし

○井麻手ハ氏言ふまでもなく姓十二考よ
り

慨嘆等之續麻之乎田有井麻縣使吾遠儀

[illegible]

漬思等　卅十八首　麻者苧のことなり　卅十八首麻
（今時者四若之惜雲吉者無とそ）

とよめるが如く麻者苧なれバ
一しほ麻を水に漬てほし
なをし麻漬の漬と寛しめるも旦
歌の漬てこそまうくる
又卅八
（解1歟和字都波多也といふ）
具麻漬もとうもし

異借なれバ同しき乃言葉にて
うるしの汝とつくる例をもて
麻漬を聞て感傷和歌

空蟬之倉卒惜哀浪示所湿　一本
（温卑）
苅食

苅食ハかりそ
ちゝゝゝゝゝ
おなとれ

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号　寄別13-33

ガラス使用

天武天皇
(2)
三吉野之耳我嶺尓時無曽雪者
零計類其雪乃時無如其雨乃間無如隈毛不落思乎
叙来其山道乎

吉野なる耳我のたけにときなくふりつもる雪は
ふる時ときなく雪のごとくまなくふりつもるけしき
さながら絵のやうにかゝれたるなり又雨の
時しくまなくふりてくらきがごとくに
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)
(9)
(10)
(11)
(12)
(13)
(14)
(15)
(16)
(17)
(18)
(19)
(20)
(21)
(22)
(23)
(24)
(25)
(26)
(27)
(28)
(29)
(30)
(31)
(32)
(33)
(34)
(35)
(36)
(37)
(38)
(39)
(40)
(41)
(42)

○時無前次の歌四首并三首短歌

あれいく書てもとゝめしくそともゝ列を八

○隈毛不落 よゝ一夜も不落し回し浩そけ

山乃隈曲乃所こゝ山滝落くりくたるものゝ

旦こゝまるにたくまゝ御幸してたるひゝ仕

こゝうれて御幸せこゝものゝふて

○思ふこゝをおもいこゝ

古今倭歌 ゝ

時自久曽八即時無ゝ

芳草言ゝ

のゝれ摸ゝ他乃例古今倭

全文をゝ

のゝ

一一ゝ

ゝ

ゝ

…ようく…い上のハ限位ハおの御子ら親ハ…
津王ともある下よへ…仍て奉ら…
ハしある天武天皇御位ハ…のようを推て天皇と…
実ハ彼出家して吉野よ入ら…時乃御方ら…
洪仁乃良跡吉見而好常言師芳野ら…
吉野ハものゝようふまつけて哭こらくのようくして
見てよ所をもし吉野ハ今まこよくしてよ
よき人ハ君よこそあるうしと…
…

…ものゝしいふくハのゝ…ふものゝ…
…ハ人をさしのふの名一つねと集申よ天皇ら
臣下をも君とそいふハよせもの
ま一

○濱成式よ元を製蝶體よ第て一二句を美與之解
平乃之止乃久美天まふ句を乃ち乃
良人をゝれと…
…ハ古をふり…
う元を百拾して…

き
16

見つとも

○右四首添人不詳と雖も今姑く麻呂卿に

古之賢人之遊兼吉野川原能見不飽焉 右人麻呂
亦入集出

吉野川ゆく川水とあれど此集度々傳藻まで後世

の七夕ものゝ吉野の仙を語りつゝてむりのた

人とゝもにてのゝ吉野の宮

一、ぬば玉の夜の天皇二年紀ゆ天皇吉野

乃宮てふ事ゆ紀ゆ天皇吉野

七十葉

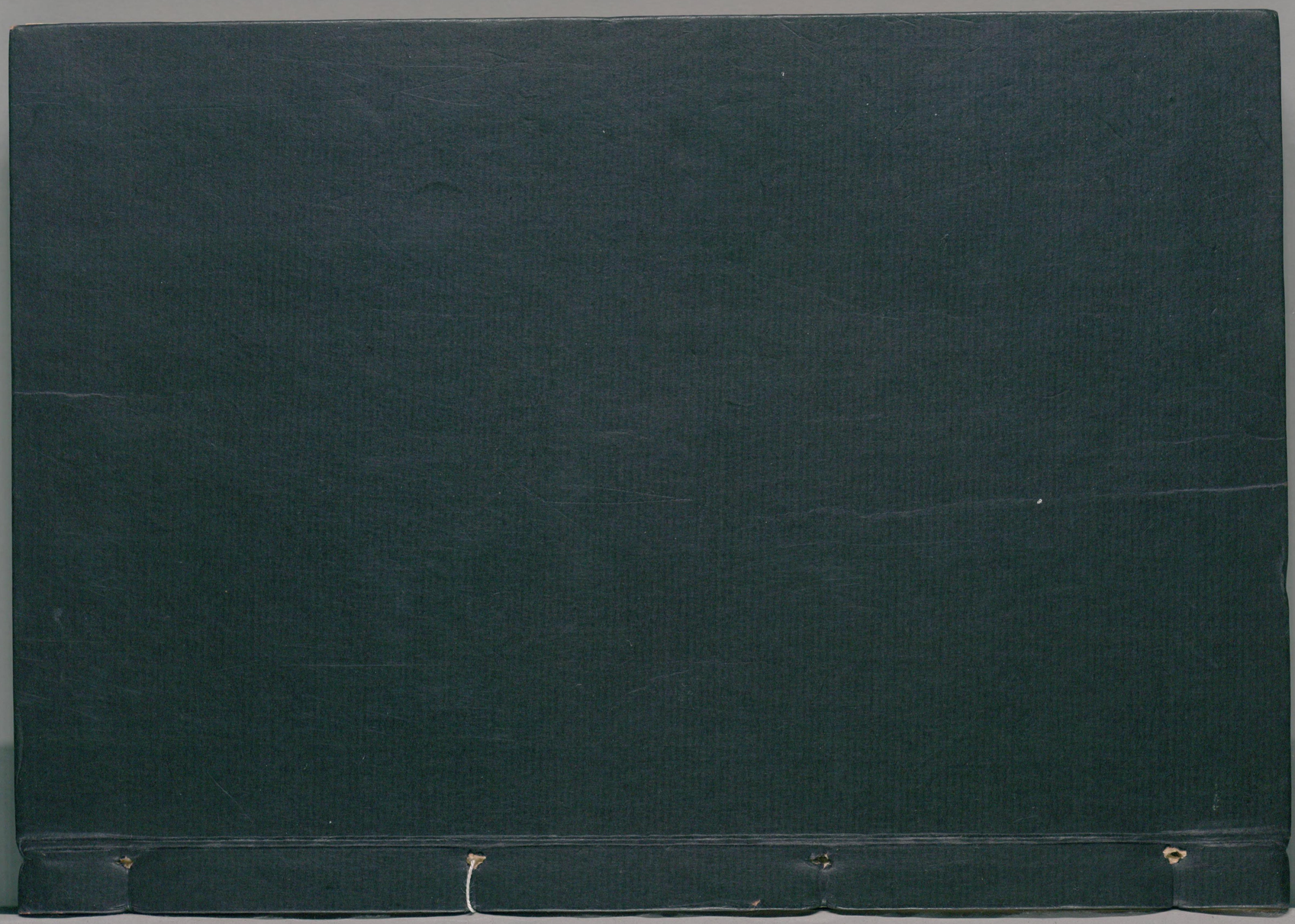
国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号 寄別13-33

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『万葉解』　請求記号　寄別13-33
ガラス使用